勝利の伝説シェブロンラインは最高級品の証。

"Chevron-Line" ist der Beweis höchster Qualität.

勝利をめざすなら、選ぶべきだ!

―――――無言の威圧感を与えるヒュンメル―――――

DOUBLE SCORE

総発売元 株式会社ダブルスコア／総代理店 大松貿易株式会社
大阪市南区難波新地3-27プリンスビルB1 〒542 TEL. (06) 213-6646

財団法人・日本ハンドボール協会発足へ

財団法人・日本ハンドボール協会が誕生する。文部省は遅くとも3月10日までに、日本ハンドボール協会が提出中の「財団法人化申請」を認め公示する。

日本協会は、かねての計画どおり、即日「財団法人・日本ハンドボール協会」を発足させ、昭和13年2月2日から43年にわたり活動を行ってきた日本ハンドボール協会の歴史は静かに幕を閉じる。

財団法人・日本ハンドボール協会は、すべての事業を日本ハンドボール協会からうけ継ぐが、事務局筋によれば、3月26日午後に第1回全国理事会を開き、新年度事業の承認などを行う予定という。

法人化後の理事（20名以内）については、すでに昨年5月11日の全国理事会で推せんがなされており会長に斎藤英四郎氏、副会長に林達夫氏、専務理事に荒川清美氏の選任が確定している。

問題は、これらの初代役員を、当初の規定では「56年3月31日までを任期とする」（寄付行為付則第2条の2）としていることだろう。

しかし、文部省筋は、認可日が予定より、はるかに、ずれこんだことなどから、第一期（昭和56年4月1日～昭和58年3月31日）は、法人化時点の理事が、そのまままつとめることを要望していると伝えられ、なりゆきが注目される。

なお、評議員（52名以上60名以内、寄付行為第21条）の選出も、ただちに行われるよう、関係各加盟団体に近く通達される。

日本協会代議員は、昨年12月31日までの任期だったが(旧規約)、法人認可の日まで、任期の延伸措置が、こうじられていたものである。

3月26日の第1回全国理事会（東京）では、法人化を待っていたため、遅滞気味の56年度事業計画、国際諸問題、財政問題、役員人事などが一気に話し合われる、とみられる。また、4～5月に東京で、法人化記念会も計画されている。

5月の国際大会本決まり,東独も来日

モスクワ・オリンピックの金メダルチーム・東ドイツ、アジアの惑星・中国の5月来日が決定し日本協会では懸案の男子国際大会を、東京、大阪、名古屋などで行うことになった。

日本協会は、昨春以来、財団法人化を記念したビッグトーナメントの開催を企画していたが、招待を呼びかけていた三ケ国のうち、前号既報の中国につづき、東ドイツも、参加を快諾、日本を加えると、最小規模でも「3カ国対抗」が可能となったため、開催準備に着手した。

残る1カ国は、昨年来、アメリカと交渉しているが、本誌〆切り日（2月25日）までに、反応がなく日本協会では、3月中旬まで待って回答がない場合アメリカの出場を断念、全日本A、Bを参加させる。

初の国際大会は、世界選手権予選を控えた日本男子の強化に大きな意味をもつが、それ以上に、国内で東ドイツ×中国、アメリカが姿を見せれば、同国の対東ドイツ、中国戦の観戦ができる点が興味。

日本で、外国同士の公式戦が行われるのは、ミュンヘン・オリンピック予選のイスラエル×韓国戦以来、十年ぶりのことだ。なお、日本協会は、これまで、この事業を「ジャパン・カップ」の名で検討していたが、他競技に同名の大会が既にある、などの理由から「4カ国対抗」に落ち着きそうである。

中国男子は、女子（ナショナル）の滞同も明きらかにしており、日本協会は、男子のリーグ戦と併行して、各地で「第2回日・中女子交流」と銘打ち、国際親善試合を行う。

男女とも正式日程は、3月中旬に発表される予定だが、2月26日の常務理事会では、5月24日(大阪)28日(名古屋)、30日（東京）で男子公式戦を行ないこのほかに東ドイツ、中国とも2～3の親善試合を編成、女子は5～6試合の親善試合（全日本1～2戦を含む）を組むとされた。（関連記事2頁）

世界ジュニア予選の一部,日本で

第3回世界ジュニア選手権の男女アジア予選の一部が、日本で行われる可能性が出て来た。

昨秋、エントリーが明きらかになったまま、アジア予選の期日、開催地に具体的な進展のなかったことの問題について、AHF（アジア・ハンドボール連盟）は、2月17日、クウェートで開いた理事会で協議を行なった。

その結果、IHF（国際ハンドボール連盟）の望んでいる「総当り2回戦システム」は、アジアの現情に合わぬとして「トーナメント・2回戦システム」を採用することとなった。

男女とも、参加が4カ国のため、1回戦2カードのあと、すぐ決勝を行うが、1回戦の組み合せは、男子が①日本×台湾、②クウェート×サウジアラビア、女子が①日本×中国、②台湾×韓国と決められた。

これらのプランは、AHF案として、IHFに提出され、早ければ3月初旬に、IHFから公式発表が行われる。

各カード及び決勝の期日、試合地は、該当国間の交渉にまかされるが、日本協会・荒川清美理事長（AHF理事）は、男子の決勝に日本が進出した場合と、女子の日本×中国戦、それに決勝のカードが日本×韓国となった場合、これらの試合を2試合とも日本で行う用意のあることを明きらかにした。

男子の日本×台湾は、日本案も出ているが、今春以降、世界ジュニア予選そのものを積極的に誘致していた台湾で開催される公算が強い。

理事長構想は、常務理事会－全国理事会に、はかられて正式決定するが、日本が男女決勝進出の場合本大会への代表権をかけたタイトルマッチが相次いで、日本で行われることになる。期日は1回戦が4～5月、決勝は6月下旬～7月上旬とみられる。（関連記事3頁）

5月の男子国際大会

24日大阪、28日名古屋、30日東京を予定

1頁所報のとおり、薫風5月、日本で、独得なチームカラーを持つ4カ国による男子国際大会が開かれようとしている。

同時に女子の日本—中国交流（第2回）も行われる、という豪華版。

現在までにまとまっている大会の構想をのぞいてみよう

日本協会が「間もなく正式発表できるだろう」という5月の国際大会は、これまで、本誌などで「ジャパン・カップ」の名で、お伝えしてきたものだ。

日本ハンドボール界にとって、初めての単独国際トーナメント。

本誌〆切り（2月25日）までに東ドイツ、中国の参加が決定、なお交渉をつづけているアメリカからOKがとどけば、独得のチームカラーをもつ日本などユニークな4カ国が勢揃いとなる。

日本協会総務筋の話を総合すると、大会は5月24日大阪（市中央体育館）、28日名古屋（愛知県体育館）、30日東京（東京体育館）にスケジュールされている。

注目のカードは、これから決定するが、30日の東京大会を中継するNHK・TVが、日本—東ドイツ戦を強く要望していることから、おのずとあとのカードが決まり、大阪、名古屋にどのように振り分けるか、ということになる。

なお、この3日間以外は、開催希望地をつのり、親善試合を行う予定だが、日本協会は、東ドイツに対しては、モスクワ・オリンピックチームという相手の格を重視、単独対戦の資格をチェックする意向だ。

ところで国内で外国ナショナルチーム同志の試合を見たい——関係者、愛好者、ファンの希望が一つとなって、「国際大会」の企画に本協会が動き出したのは、去年の春のことだ（＝本誌184号参照）

日本協会の財団法人化、つまり新・日本協会の発足という絶好のタイミングもあって、この事業実現への関心は、一気に高まった。

問題は大会規模と招待国。外国の高名トーナメントは、最少でも「4カ国対抗」、多くは「6カ国」「8カ国」なることから、日本協会は、日本を含む4カ国という線を第1案とした。

招待国は、準備期間の関係などから、改めて、この大会のために外国チームをリストアップするのではなく、これまで、定期交流をしている国を主体としたい、という荒川理事長の提案が通って、第一に東ドイツ、第二に中国があげられた。

このうち、東ドイツは、昨夏のモスクワ・オリンピックで優勝を遂げたことから、最優先が打ち出され、かなり早い時点で、来日打診が行われている。

残る一カ国は、昨年、交流がまとまりかけながら流れた朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、進境を伝えられるアメリカ、来日を希望しているユーゴ、スウェーデンなどが候補にあげられたが、新鮮味それにヨーロッパ（東ドイツ）、アジア（中国）とのバランスからアメリカ招待を、荒川理事長が強く推し、昨秋11月の常務理事会で東ドイツ、中国、アメリカの3カ国が〝決定〟した。（＝本誌192号参照）。

各国へ正式招待状がただちに送られ、いち早く中国が反応、本誌前号既報のとおり、昨年くれ参加を打ち返してきた。

「東ドイツ来日」で準備も加速

日本協会を驚ろかせたのは、この大会の核ともいえる東ドイツ。

東ドイツは、当初、日本協会のこの呼びかけを、これまでの「日本・東ドイツ交流」の一環と思い日本体協を通じ、1月上旬、ことわりの連絡を伝えてきた。

ところが、2月4日になって、「4カ国対抗に参加する」というテレックスがとどき、大会準備も一気に加速を増した。

金メダル・メンバーそのままが来日するものと、日本協会は確信している。

日・中女子も

この男子の国際大会と併行して第2回日中女子交流の実施も決まった。

中国女子の来日は史上初めてで、すでに、ナショナルチームの訪問が確約されている。

中国は、男子とともに、5月22日日本着といわれ、日本協会では5月24、25、27、30、31日の5試合を計画している。

このうち、24日と30日は男子4カ国対抗の開催日で、できれば同一会場で、ナショナルチームの対戦としたい計画だ。

となれば、この2日間は、ナショナルマッチ3試合という豪華な〝興行〟になる。

アジア・ナンバーワンの座返り咲きを狙う日本女子にとって、中国は韓国と並ぶ最大のライバル。

昨年の第1回交流は1勝1敗に終っており、このシリーズは、とりあえずの〝結着戦〟だ。

『ハンドボール』

56年3月号（第194号）目次

【表紙写真】クウェート国際第3戦、日本×クウェート、蒲生の攻撃（2月10日）
撮影・全日本選手団

世界ジュニア選手権予選

まず日本×台湾（男子）、日本×中国（女子）

1頁所報のとおり、第3回世界ジュニア選手権男女アジア予選の一部を、日本で開催する可能性が強まってきた。

韓国説、台湾説から、急転このようになった背景と、これからの見通しなどを、探ってみよう。

まず、AHF理事会（2月17日クウェート）がIHF（国際ハンドボール連盟）に提案することになった予選法式は、別表のとおりで、各カードとも2回戦システムである。

IHFは、こうした予選は、つとめて総当り戦を採るよう希望しているだけに、AHF（アジア・ハンドボール連盟）案は、難しいようにみえるが、今回は、この線で落ち着くことになろう。

というのは、アジアのハンドボール界がAHF主体に運営される色彩が、ますます強くなっているからだ。

今回のエントリーで、男女ともAHF未加盟の台湾が加っていることが明きらかとなった時点から日本協会は、IHFの望む総当り戦は困難と判断していた。

しかし、この予選の組織責任者である渡辺和美理事らIHFは、統一会場による総当り戦の線を崩さず、男女両部門にエントリーしている日本、台湾を、候補地にあげた。

これに対し、日本は、今春早々非公式ながら開催の意思のないことを伝え、台湾一本に、しぼられた。

日本の〝返上〟は、一時期に男女6チームを招へいするだけの運営能力（会場、経費、役員）などがないことが理由だった。

本来なら、これですんなり台湾に決まるわけだが、同国がAHF未加盟のうえ、国名問題などで、いぜんすっきりしない部分がありこの動きを察知したIHFは、男子・台湾、女子・韓国の新案を準備した。

本誌前号〆切り時点（1月28日）でこの提案の実現はほぼ確定的だったのだが、2月早々、韓国での実施が難しいことが分かり、またAHFが女子の台湾開催に難色を示した。

このため一転、両予選とも宙に浮き、渡辺理事は改めて、強化部を通じ日本開催の再検討を求めた

IHF側は、この時、宿泊費の参加国負担を示したといわれる。

日本協会・荒川清美理事長も、AHF理事の立場上、前向きに検討したようだが、男女各12試合、最低7日間の会場確保などに見通しがつかず、折から、AHF理事会の招集があったため、日本協会は、独自の提案をもって臨むこととなった。

「トーナメント」は日本提案

日本協会のAHF理事会への提案は、2月5日、荒川理事長と大野金一総務担当常務理事によって次のようにまとめられた。

『①男子はトーナメント法式とし東サイド（日本×台湾）、と西サイド（クウェート×サウジアラビア）を1回戦とする。日本が決勝進出の場合、日本開催を保証する。

②女子は、4カ国1回総当り（3日間）とする場合のみ、日本開催を検討する。ただし、宿泊費は参加国負担とする』

結果的には、①については、ほぼ日本案が、AHFに採択されたことになった。

また、女子については、日本案のほか、IHF案ともいうべき「4カ国2回総当り」があったが、結局は、男子同ようのトーナメント法式にまとまったものである。

AHF理事会は、この提案をIHFに示すが、クウェートでの同理事会に渡辺理事も出席していたことから、まず修正されることはあるまい。

2月20日帰国した荒川理事長は強化サイドに、すでに、この組み合せを示し、強化準備の促進指示をしている。

具体的な動きは、2月26日の月例常務理事会後になろうが、荒川理事長は、2回戦システムをホームアンド・アウェイとは受けとらず、男子の日本×台湾戦は台湾または日本で2試合、女子の日本×中国戦は日本誘致の意向である。

また、男子で日本が決勝進出をはたせば相手がクウェート、サウジアラビアいずれの場合も日本開催、女子は日本×韓国戦の場合、日本開催とする模様である。

会期については、男子の日本×台湾戦は、早ければ4月下旬になる、といわれるが、クウェート×サウジアラビア戦が6月開催を希望していることもあって流動的。

女子の日本×中国戦は、3月中旬に、中国協会と打ち合せることになりそうだ。

欧州（男子）などでも予選

IHFは、1月16日、今年の第3回世界ジュニア選手権の男女エントリーなどを公式発表した。

それによると男子は24カ国、女子は14カ国で、このほかアフリカ勢が加わるため、いずれも初の予選が行われることとなった。

男子は、前回の上位7カ国（ソ連、ユーゴ、スウェーデン、デンマーク、チェコ、東ドイツ、アイスランド）と開催国（ポルトガル）が予選免除となり、ヨーロッパ地区はイギリス×フランス、オーストリア×西ドイツ、イタリア×スイス、フインランド×オランダ、スペイン×イスラエル、アメリカ地区はアルゼンチン×メキシコの対戦で、勝者が出場権を得る。

女子は、アジア地区のみ予選が実施される。

なお、男女ともアフリカ地区は近く行われる第1回アフリカジュニア選手権の勝者へ自動的に、本大会への出場権が与えられる。

今回のエントリーで、男子のポーランド、ブルガリアは申しこみが〆切り後に届いたため、参加を認められていない。

世界ジュニア選手権アジア予選AHF案

〔男子〕
- 日本 ─┐
- 台湾 ─┘（勝者同士が決勝）
- クウェート ─┐
- サウジアラビア ─┘

〔女子〕
- 日本 ─┐
- 中国 ─┘（勝者同士が決勝）
- 韓国 ─┐
- 台湾 ─┘

こんなとき便利な ダイワキャッシュカード。

日常のお引き出しに…

カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…

ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45~午後6:00(土曜日は午前9:00~午後2:00)まで、またマークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…

お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーやマークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…

給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を
預金も
信託も…
大和銀行

マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

全国中学校大会は徳山市で

日本協会は、56年事業の取りまとめを急いでいるが、各全日本選手権大会などの日程が、これまでに次のように決まっている。

▽第22回全日本実業団選手権・男子、5月2～4日・愛知県体育館
▽第22回全日本実業団選手権・女子、5月22～24日・大阪市中央体育館
▽第6回日本リーグ前期　6月13日～7月10日・国内各地
▽第32回全日本高校選手権　8月1日～7日・東京八王子市中央大学体育館
▽第8回全国高専選手権　8月2～3日・山口県宇部市
▽第24回全日本教職員選手権　8月8～12日・島根県江津市
▽第10回全国中学校大会　8月21～23日・山口県徳山市
▽第36回国民体育大会ハンドボール競技　10月13～18日・滋賀県彦根市
▽第6回日本リーグ後期　11月7～29日・各地
▽第33回全日本総合選手権　12月16～20日・東京体育館
▽第13回全国実業団男子トーナメント　57年2月10～12日・愛知県豊田市または刈谷市
▽第5回全国高校選抜大会　57年3月26～28日・名古屋市愛知県体育館

西ベルリンのクラブを招待

日本協会は、かねてから来日を希望している西ドイツの「ツルゲンマインデ・ベルリン48」（略称ＴＩＢ48）の男女チームを9月20日から約3週間招いて、親善試合を行うことに決めた。

ＴＩＢ48は、男子がベルリン地域の二部リーグに、女子が同地域の一部リーグに所属している。

88年10月8日から23日まで
名古屋五輪の会期案

一九八八年の夏季オリンピックの開催都市に立候補している名古屋市のオリンピック招致委員会は2月9日までに、ＩＯＣ（国際オリンピック委）とＩＦＳ（各国際競技連盟）からの質問書への回答書案をまとめた。

それによると、注目の大会開催日時は10月8日から23日までの16日間で、オリンピック憲章に定められたハンドボールなど21の全夏季競技が行われる。

競技施設は、名古屋市以外にも愛知、岐阜、三重の3県にもまたがっており、ハンドボールは、本誌186号で報じたように、名古屋市に新設予定の総合体育館を主会場に、三重県の四日市市緑地公園体育館と鈴鹿市体育館が予定されている。

また、今回の回答書で、ハンドボール練習会場としてブラザー工業体育館、大同特殊鋼体育館（以上名古屋市）、安城市立体育館（愛知）、鈴鹿高専体育館、鈴鹿青少年スポーツセンター体育館、ジャスコ体育館、霞ケ浦体育館（以上三重県）の8施設があげられている。

一九八八年の夏季オリンピックには、名古屋のほかメルボルン（オーストラリア）、ソウル（韓国）アテネ（ギリシャ）らが立候補しており、今秋10月1日（日本時間）西ドイツで開かれるＩＯＣ総会で投票が行われるが、最近の報道では〝メルボルン返上〟の動きもある。

なお、日本協会・荒川清美理事長（ＪＯＣ常任委員）は招致委員会実行委員の一人として加わっている。

島根国体は来年10月3日から

日本体協国体委員会は、このほど、来年の島根国体の秋季大会を10月3日から8日まで開くことに決めた。

来年は、第8回アジア競技大会が11月下旬からインドで行われることになっており、ハンドボール（男子）も初実施されるため、島根国体の日程は、ハンドボール関係者にも関心が持たれていた。

なお、同国体のハンドボールは江津市で成年男子と少年男女、温泉津町で47都道府県参加の成年女子が行われる。

ＮＨＫ・ＴＶスポーツ教室

3月21、28日に

ＮＨＫでは、3月21日、28日の両日午後6時から教育テレビで「スポーツ教室・ハンドボール」を放送する。

指導は、昨年につづき日体大女子監督の藤原侑氏。

石切山稔治理事逝く

日本協会理事・石切山稔治氏が2月9日北大付属病院で肺ガンのため亡くなられた。45才。

石切山氏は、静岡県出身、29～32年日体大のバックス（11人制）として活躍、卒業後、室蘭東高－札幌南高教諭となり、北海道ハンドボール界の発展にじん力、43年北海道協会理事長に選任され、今日に至った。

また、同年から日本協会理事もつとめられ、若い感覚にあふれた組織論は、近い将来、日本ハンドボール界を背負う一人として大きな期待がかけられていた。全日本教職連盟理事、全国高体連ハンドボール部常任委員も、本誌編集委員兼任。心からごめい福を祈ります。

◇

北海道協会は、石切山氏の死去にともない、日本協会理事の後任として岡田豊夫氏を決めた。

日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球（J･H･A）
タチカラシムレスボール
タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたＬ・Ｂ・Ｃ中空製法です。
タチカラ株式会社

日本 アジアナンバーワンの座 ゆらぐ

クウェートに不覚、中国と分ける

クウェート国際で2位

クウェートの建国（独立）20周年を記念して開かれた「第1回クウェート男子国際トーナメント」は2月9日から16日まで、クウェートの新設スポーツホール「アル・クワディシイヤ・クラブ」で、日本など6カ国の参加によって、リーグ戦で行われた。

出場を予定されたスペイン（モスクワ・オリンピック5位）とオーストリアが姿を見せず、中国、コンゴ、ガルフ・コモン・マーケット（ペルシャ湾沿岸諸国連合）、朝鮮民主々義人民共和国(北朝鮮)、地元クウェートが参加した。

この顔ぶれなら、日本が圧倒的有利と思われたが、クウェートとの対戦で、後半、相手の反撃を受け逆転負けという不覚をとり、勢いにのったクウェートは、中国戦も1点差で握って優勝。日本は中国戦を引き分け、中国と同率（3勝1分1敗）、得失点差で辛くも2位となった。

日本男子が、アジアのナショナルチームに敗れたのは、昭和41年9月の中国戦（東京）以来14年ぶりである。

2位に留ったとはいえ、日本が伏兵ともいうべきクウェートに敗れアジアナンバーワンの座がゆらいだのは、国内に大きなショックを与え、今秋の世界選手権予選、来秋のアジア大会、2年後のオリンピック予選への緊張を高めることとなった。

日本チームは、クウェート国際のあとヨーロッパへ向かい、西ドイツ、ベルギー、フランスを転戦、3月4日夜、帰国の予定である。

後半から本来の調子

第1戦、コンゴとの試合は2月10日午後4時から行われた。審判＝アル・カサール、アル・マジーディ（ともにクウェート）

日本 22（12－8、10－6）14 コンゴ

○…開始8秒で1点をとられ、さらにパスカットをうけて失点、わずか33秒で0－3という拙い立ちあがり。2分PTで0－3とされたが、2分30秒蒲生のゴール成功でどうにか落ち着いた。

得	【日本】		【コンゴ(身長)】	得
0	福井	GK	パトリック(177)	0
0	大畑	GK	パウル(179)	0
2	津川	FP	アルホンセ(176)	0
5	蒲生	FP	ガストン(179)	3
3	山本	FP	ピエーレ(180)	3
2	斉藤将	FP	セルスタン(176)	0
1	斉藤幸	FP	B・デュードン(179)	1
3	穂積	FP	ギスカルド(178)	1
1	大原	FP	D・デュードン(182)	1
3	池之上	FP	フランクリン(174)	0
2	関	FP	アントワーヌ(181)	2
0	中本	FP	シェルバン(180)	3
22 (3)				14

このあと、日本は4点を連取、ディフェンスもよい動きとなったが、攻守ともに甘いプレーがのぞき、よいデキとはいえなかった。

後半、日本は蒲生のロング、斉藤(将)のポスト、山本のサイドなど多彩に攻めこみ、関、池ノ上の好走もあって20分19－10、勝負を決めた。（東 嘉伸＝全日本男子コーチ）

凡失多く余祐生まれず

第2戦、ガルフ・コモン・マーケット（ペルシャ湾沿岸諸国連合）との試合は、2月11日午後4時から行われた。審判＝アル・マジーディ（クウェート）、チャエ・ハン・ジェイ（北朝鮮）

日本 22（11－4、11－6）10 ガルフ

得	【日本】		【ガルフ(身長)】	得
0	福井	GK	アエサ・アリ(185)	0
0	大畑	GK	モハメド・ファラ(170)	0
1	津川	FP	ナビール・タハ(174)	0
1	山本	FP	アルファイブ(177)	5
5	大原	FP	アブダルカリーム(168)	0
5	蒲生	FP	モバラク(169)	0
4	池之上	FP	アル・ヒンディ(171)	0
1	穂積	FP	ハッサン(175)	0
2	斉藤将	FP	ガニム(171)	2
0	斉藤幸	FP	サルムン(174)	0
1	志賀	FP	アブダーラ(178)	2
2	関	FP	アル・アニ(178)	1
22 (2) PT				10

○…第一戦同ようにいきなり1点をポストから失ったが、すぐ穂積が返して調子に乗るかと思えた。

しかし、ガルフは、意外なまとまりを見せ、混戦模様となった。日本はようやく、前半20分すぎから津川、大原らのダイナミックなプレーで先行しはじめた。

後半は、池之上を加え、右側からの攻撃で、10分までに速攻を含め6点を加えた。

点差を開いた割に、日本チームに余祐がなく、凡ミスも多く、歯切れのよい試合とはいえなかった。（東）

竹野奉昭監督の話 シーズンオフということもあって、日本選手は最後の詰めが甘かった。

全般的に得点も少なく、そこをクウェートにつかれた。

また、北朝鮮、コンゴ、ガルフなど、まったく未知数の国との初対戦がつづき、試合前から、必要以上の緊張を強いられていたのも響いた。

幸い、すぐにヨーロッパ転戦するので心気一転、次の機会を期すつもりである。（2月17日、国際電話）

13本の被PTで9失点

第3戦、クウェートとの試合は2月13日午後5時30分から行われた。審判＝サレ・ラジャブ、アル・ホリイ（ともにクウェート）

クウェート 20（10－8、10－10）18 日本

得	【クウェート(身長)】		【日本】	得
0	アル・ホウティ(168)	GK	福井	1
0	アショール・カミス(171)	GK	岡部	0
1	アジス・アンゲル(172)	FP	津川	2
0	M・カサール(172)	FP	関	3
12	J・カサール(178)	FP	穂積	1
1	ディアブ(177)	FP	山本	2
0	カナーエ(180)	FP	大原	5
1	サレ・ダエフ(179)	FP	蒲生	3
4	スールタン(175)	FP	池之上	0
1	ムサエド・ランディ(172)	FP	中本	0
0	クワダス(176)	FP	斉藤幸	0
0	モハメド・サクール(174)	FP	斉藤将	1
20 (9)			PT (1)	18

○…まさに「13日の金曜日」は冠日だ。
日本のデキもけしてよいものではなかったが、13本のPTを課せられ9点を失っては、勝機を見出そうにも、糸口がない。
残り3分を割って17―17から、日本は13本目のPTを宣せられて17―18、さらに、チャージ気味の攻撃をうけ17―19、残り30秒から蒲生―大原のスカイプレーが決まり18―19とし、オールコートプレスをかけたが、クウェートはGKからエース、J・カサールにロングパスを通じてダメ押し点、日本は、ぼうぜんたる中で〝敗戦〟の苦さを味わった。
それにしても、今日も立上りが悪かった。
決めるべきシュートが甘く、10分3―5。
関、大原が返して16分6―6、さらに斉藤(将)のポストで7―6とリードしたが、一気に主導権を握るまでには至らず、逆にクウェートの〝PT攻撃〟にあって、23分には再び7―9とされてしまった。
そのあと、日本はどうにか速攻などでポイントをあげ、10―10で折り返した。
後半、日本はディフェンスが立ちなおり、GK福井がPT2本を防いだほか、自から得意のロングスローで1点をあげ13―10とするなど好ペースとなった。
ところが、このあたりから、やたらにオーバーステップ、チャーヂが目立って逸機。じわじわと相手に得点を返され、クウェートの逆転劇のおぜん立てを許してしまった。クウェートは7人がモスクワオリンピック代表。（東）

14年ぶりの敗戦　日本男子がアジアのナショナルチームに敗れたのは41年10月の中国戦（駒沢）以来のこと。
46年11月のイスラエル戦(東京)以降、対アジアナショナルの無敗記録は32勝1分でストップした。

北朝鮮と史上初の対戦

第4戦、朝鮮民主々義人民共和国（北朝鮮）との試合は、2月15日午後4時から行われた。審判＝アル・カサール、アル・タバカ（ともにクウェート）

日本 36（17―7, 19―7）14 北朝鮮

得	【日本】	
1	大畑	GK
0	福井	GK
4	津川	FP
1	大原	FP
7	池之上	FP
4	穂積	FP
5	蒲生	FP
3	山本	FP
6	斉藤将	FP
3	関	FP
1	斉藤幸	FP
1	志賀	FP
36	PT	

	【北朝鮮】	得
GK	ヨー・チャン・リヨン	0
GK	キム・ムン・グ	0
FP	ジイ・リョン・セン	2
FP	キム・チャン・セン	6
FP	ホヨ・ン・ピョ	0
FP	パク・シエル・ウオン	2
FP	チャエ・ボン・セン	1
FP	ソン・セン・スン	0
FP	ジン・チュン・ギル	2
FP	シン・ドン・ホン	1
FP	キ・ジン・セク	0
FP	キム・ムン・セル	0
	PT	14

（北朝鮮は身長不明）

○…史上初対戦。注目の北朝鮮だったが、すべてのプレーで日本が優り、10分8―1と主導権。
北朝鮮は、175～177㎝台の選手が多く、がっちりしているが、やはり上背に物足りなさがある。
このため、ロングシュートはほとんどなく、技巧的な攻撃主体でキム・チャン・センのミドル、アンダーが印象に残った。
日本は、GK大畑が好プレーをみせ、後半24分にはダイレクトゴールを記すなど目立った。（東）

日本、6点差守り切れず

第5戦（最終戦）、中国との試合は2月16日午後5時30分から行われた。審判＝ラサク・マラフイサレ・ラマブ（ともにクウェート）

日本、体力的に見劣り

団長　荒川清美

クウェート戦での敗退は、正直のところ、意外だった。
モスクワ・オリンピックに出場したとはいえ、これまでのクウェートの力、また、この大会でのガルフ戦、北朝鮮戦などからみて、日本の有利は動かないと思えた。
ところが日本は敗れた。クウェートの力が上だった、というよりあまりにも日本が低調であった。
部分的には13本ものPTを課せられるなど（うち9失点）、アンラッキーな面もあったが、日本は後半、3点差（13―10）をつけ、ペースを握りかけたのである。
そのリズムを持ちつづけられなかったのだから〝敗戦〟に弁解の余地はない。
勝負の怖さというものを、改めて知らされた思いだ。
しかし、日本が締めてかかればこの雪じょくは、充分にできる。
問題は、むしろ中国だ。一昨年のオリンピック予選（名古屋、東京）の時より、いっそうたくましくなり、日本は、いちぢ6点差をつけたのだが、それをはね返してきた。
年令的にも若返り、これで攻撃にスピードがついてくると、日本も、簡単には勝てなくなるだろう
日本は、クウェート戦も中国戦も、終盤に疲れがのぞいた。
国内がオフ・シーズンだったとはいえ、体力的な見劣りは、早急に改善すべきである。
初見参の朝鮮民主々義人民共和国は、全敗したものの、パスワークも技巧的だし、スカイプレーもこなすなど、近代ハンドボールを身につけている。
ただ、全員が小柄なことと、ディフェンスが幼稚な印象をうけた
大会は、クウェート協会のパワーを示すに充分で、総経費は二千万円近かったろう。
参加するといわれていたスペイン、オーストリアは、彼らが出渋ったのか、それともクウェート側が招待を取り消したのか、不出場の〝真相〟は分からなかった。
それだけに日本の参加は、各地で喜ばれ、関係者は「大会をいっそう意義深いものにした」といってくれた。
会場は、クウェート国家が建てた市内10カ所のスポーツホールの一つでフロアは木材。平生は、スポーツクラブに管理が委されている、という。
驚いたのは、テレビ局の中継カメラが、スポーツホールに備え付けられていることで、中継の時は放送局から担当者が手ぶらで来てその機材を使うのだそうだ。
中国×クウェート、日本×中国が近隣諸国にも放映されたほか、日本戦以外のクウェートの試合はすべて、テレビ中継された。
（談・2月20日東京で）

日本 25（7—13, 18—12）25 中国
引き分け

得	【日本】		【中国(身長)】		得
0	福井	GK	鄭喜雄	(190)	0
0	大畑	GK	閔跌	(190)	0
7	津川	FP	張生	(186)	4
4	蒲生	FP	李英才	(179)	5
4	山本	FP	白又順	(190)	1
4	大原	FP	張保平	(188)	4
0	穂積	FP	李国才	(184)	4
4	池之上	FP	徐旭波	(190)	0
0	関	FP	孟佐生	(187)	0
0	斉藤将	FP	呉明群	(190)	6
2	斉藤幸	FP	孫平生	(190)	0
0	志賀	FP	安福田	(191)	1
25	(4)	PT	(9)		25

○…辛じて引き分けたものの、中国の大反撃をかわすことが出来なかったのは、悔いを残す。

前半、防御の甘さが気になったものの、好調な攻撃がそれをカバー、今大会最高のデキを示した。

中国は、いっそう若返った大型選手を並べ、先行されながらも、18分9—11と追ってきたが、日本は山本の速攻などで突き放し、6点差をつけた。

後半の立ちあがり、PTなどで3点を失い18—15と詰め寄られたが、再びリズムに乗って10分22—16、絶対の優位に立った。

ところが、このあと6本のペナルティを課せられ、中国の強引なカットインにあって、点差を縮められはじめ、28分ついに24—24。

日本はこのあと、山本が決めて逃げ切ったかにみえたが、29分10秒、中国、李英才（主将）のサイドからのシュートを浴び、引き分けとされた。（東）

【日本選手団】

	氏名	所属	身長
・GK	大畑 孝広	本田技	184cm
	岡部 大	大崎	182
	福井 秀人	湧永	180
・FP	蒲生 晴明	大同	192
	斉藤将一郎	湯沢ク	187
	志賀 良弘	湧永	187
	池之上孝司	湧永	185
	津川 昭	湧永	180
	穂積 豊彦	湧永	180
	関 健三	三陽	180
	山本 伸二	湧永	178
	大原 真造	大同	175
	斉藤 幸司	大崎	174
	中本 満明	大同	174

▽日本以外の試合

		前半	後半		
クウェート	24	14—10	10—13	23	ガルフ
中国	30	14—13	16—6	19	北朝鮮
クウェート	32	16—11	16—7	18	北朝鮮
クウェート	26	13—9	13—9	18	コンゴ
中国	28	15—15	13—8	23	ガルフ
コンゴ	22	10—11	12—8	19	北朝鮮
中国	26	8—10	18—6	16	コンゴ
ガルフ	23	11—8	12—10	18	北朝鮮
クウェート	27	13—14	14—12	26	中国

【順位】①クウェート5戦全勝②日本3勝1分1敗（得失点差40）③中国3勝1分1敗(25)④ガルフ2勝3敗⑤コンゴ1勝4敗⑥朝鮮民主々義人民共和国5敗

日本×クウェート V.T.R 観戦記

——杉山 茂——

まさかと思ったクウェート戦の敗退。

クウェートは、それほど強くなったのか、日本は、どんな試合をしたのか。

荒川清美団長が持ち帰ったヴィデオテープを見せてもらった。

◇

結論からいうなら、クウェートのレベルアップより、日本の精彩のなさが、勝負を分けた。

日本は、全試合どうもピリッとしたところがない。

それが気候条件によるものか日本がシーズンオフであったための〝組織不足〟に起因しているのかは、分からぬが、再三、クウェートに先行しながら、すぐ追いつかれ、その低調が、終盤の大逆転を許す下敷きになった。

特に、前半のディフェンスはまったく動きが鈍く、すべて受け身に廻っている。

敗因の一つに13本の被PT（うち失点9）があることは、間違いないが、レフェリングもさることながら、この日の日本ディフェンスは、あまりにも、下って守りすぎた。

これでは、地元で張り切る相手の突進、前進を防ぎ止めることは難しく、せっかくリードしても、すぐに、その〝貯金〟をはたいてしまうことになる。

攻撃も走りを忘れ、やたらに早く仕掛けている。

この大会、クウェートのGK陣は「乗りに乗っていた」（荒川団長）そうだから、この射ち急ぎは無暴にみえる。

ディフェンスも、オフェンスもこの試合に限っていえば、我慢が足りない。

もし、クウェート組み易しとみて、こうなったのだとしたら、それは「王者としてのおごり」以外のなにものでもない。

クウェートは、たしかに、まとまってきている。

ハンガリーの元オリンピック選手、J・アドルヤン氏の熱心なコーチが、ようやく実を結んできたのだろう。

個々の選手も、スナップの利いたパスやシュート、サイドからの攻撃技術に秀れ、いい感じだ。

モスクワ・オリンピックに出場したことも、選手に「やる気」を起こさせる一つの力になっている。

しかし、日本を破るほどのパワーアップがあったかといえばそこまでには、至っていない。

あまりにも、日本が低調にすぎたのである。

被PT13本というのは、たしかに異常だし、このほか首をかしげる判定もないことはない。

しかし、それは、乗りこみ試合に、常につきまとうもので、代表選手は、先刻承知のハズだ。

不利な判定に、選手が投げやりになるようなシーンやプレーがなかったのは救いだが、相手の本拠地なら、ナックアウトでなければ勝てない、といった気力にも、この日は欠けていたのではないか。

「次の対戦では絶対勝てる」という竹野奉昭監督のことば（国際電話）に、私も同感だが、もはや、アジアの国の中で、日本が気を抜いても勝てる相手が居なくなったことだけは確かである。

今回の敗戦が、カスリ傷で終るか、深傷になるかは、すべてこのあとの日本チームの戦闘姿勢にかかろう。

（NHK運動部）

日本は「規則・審判」委員長に
AHF、専門委員会を活発化

AHF（アジア・ハンドボール連盟）は、昨年4月役員改選後初の理事会を、2月17日午前10時からクウェート・ヒルトンホテルで開き、日本からは荒川清美理事（日本協会理事長）、IHF理事でもある渡辺和美理事の両氏が出席した。

◇

最大の議題は、IHFから今春4～5月に義務づけられた第3回世界男女ジュニア選手権のアジア予選の開催方法だったが、3頁所報のとおり、AHF案をまとめ、IHFへ提示することとなった。

私は、このAHF案が、IHFで修正されることはまずないと思っている。

第二に、かねてから整備が急がれていたAHF内の組織化が協議された。

すでに、AHF内には、IHF同ようの専門委員会の設置が行われているが、これまでは、ほとんど有名無実。

このため、早急にスタッフを決定することになり、各専門委員会の委員長を、次のように決めた。

▽組織・大会委員会（COC）クウェート。
▽レフェリー・ルール（規則・審判）委員会（PRC）、日本。
▽コーチ・手法委員会（CCM）中国。
▽普及、広報委員会（CPD）クウェート。
▽医事委員会（MC）　パレスチナ。

担当となった各国は早急に、委員長1名を推せんする。

また、各委員会とも2名の委員を選ぶが、どこの国から委員を選任するかは、委員長一任となる。

なお、ほとんど活動はなかったが、初代各委員会の委員長として日本はCCMに渡辺慶寿氏（前日本協会強化部長、前理事）がノミネートされていた。

このほか、イラクに予定されていた第3回アジア選手権（男子）は、結局、イラクで開催が難しいことが分かり、改めて開催地を募集することになった。

また、加盟国の増大についても積極的な発言があったが、席上、マレーシア、インドネシアなどでは、公式の協会はないが、有力スポーツクラブでハンドボールが行われることが明きらかにされた。

来年、インドでのアジア競技大会についても、JOC（日本オリンピック委）から伝えられているとおり、ハンドボール男子の実施が正式決定したと報告され、アジアユース選手権、アジア・レフェリーコース、アジア・トレーナー（コーチ）コースなど、今後の活動についても、活発な議論がかわされ、本格的発足の各委員会に期待をかけることとなった。

（荒川清美）

人選は全国理事会か

日本協会・荒川清美理事長は、AHF理事会が、日本にレフェリー・ルール委員長を割りあてたことで、早急に、その人選を進めることを明きらかにしたが、早ければ2月26日の常務理事会、常識的には3月法人化初の全国理事会の議題とされよう。

シニアの予選は話合いなし

今回のAHF理事会では、今秋に予想される第10回世界男子選手権予選と、来春2～3月と思われる第8回世界女子選手権予選については、ほとんど話し合いが行われなかった。

日本協会は、両予選とも、世界ジュニア同よう4～6カ国のエントリーは動かないとみているが、AHF理事会は、IHFが、まだこの件について始動していない以上、協議する必要はない、といったムードと伝えられる。

「アジア球界の運行すべてAHFで」
サバハ会長語る

クウェート国際トーナメントの日本選手団長・荒川清美理事長は2月12日、AHF会長でIHF第三副会長をつとめるシェイク・ファヒド・アル・アーマド・アル・サバハ会長を表敬訪問した。

サバハ会長は、荒川理事長と今後のアジアハンドボール界について話し合ったが、「アジアのハンドボール界は、今後すべてAHFの判断によって運行されることになろう」という注目すべき発言を行った。

これは、オリンピックや世界選手権のアジア予選などについて意見を交かんした際に、同会長が述べたものである。

なお、荒川理事長は、前掲のAHF理事会のため、日本選手団のヨーロッパ転戦には同行せず、2月19日夜帰国した。

3月7日に強化委　日本協会強化部は3月7日午後4時から東京で強化委員会を開き、当面する重要課題を協議する。

台湾でユース大会　台湾協会は第2回中正杯国際青少年トーナメントを4月20日から26日までタイペイで行うと発表した。

昨年の第1回大会に、日本からは男・浦和実業学園高（埼玉）、女・名古屋短大付高（愛知）が参加している。

大同特殊鋼

取締役社長　武田喜三

本社：名古屋市中区錦一丁目11－18（興銀ビル）
TEL名古屋(052)201-5111（大代表）〒460
支社：東京　支店：大阪

HANDBALL SPECIAL
NEW
3063 標準小売価格 ¥12,000
■オックスハイド甲皮■シェルソール■ホワイト×ブルー
3064●ホワイト×レッド
3065●ホワイト×ブラック

SPECIAL

新登場、ハンドボールスペシャル。なぜ、「スペシャル」なのか。

あのシェルソールが、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をアップ。

世界選手権を始め、国際大会で圧倒的な使用率を誇り、数々の栄光へ導きつづけるアディダス・ハンドボールシューズが、スポーツ科学の最新の成果を背景にさらに新たなシェルソールを装備して登場しました。その名も「ハンドボールスペシャル」。速攻性の追求はもちろん、ソールの溝は極限の倒れ込みシュートでも安定した軸足を確保。ターンを容易にする回転ゾーンやグリップ性を高める吸盤、トレフォイル(3つ葉)パターンなど、ハンドボール競技におけるフットワークの意味をマキシムまで追求し、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をさらにアップしています。

勝利を呼ぶ3本線
adidas®
The science of sport.

KSG 兼松スポーツ用品株式会社
〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3☎06・305-1431 〒130 東京都墨田区緑2-12-3☎03・634-1411

3月25～27日・名古屋

春に競う32校の新鋭、古豪

第4回全国高校選抜大会

新シーズンの幕開けを告げる第4回全国高校選抜大会が、3月25日から27日まで名古屋の愛知県体育館で行われる。

今大会から、参加校が男女ともこれまでの各10校から16校に増え各県、各ブロックとも「選抜」を目指す熱戦はかつてないものとなった。

初出場校も、男子9、女子7校とこれまでにない記録、初出場県も男女合わせて13を数えている。

一方、4年連続という〝名門〟も氷見(富山)、県岐阜商(岐阜)、小松市女(石川)、徳山（山口）の4校を数える。

各校とも、夏のインター・ハイでも伝統の力を示しているところだ。

大会の組み合せは、すでに別表のように発表されている。春の予想は難しい、といわれるが、有力校などを、各地からの情報を頼りに探ってみた。

▽

男子は、西日本勢と明星(東京)氷見(富山)、青森商（青森）あたりの争いではないかといわれる。

小林工(宮崎)、久留米工大付（福岡）の九州両雄をはじめ、近畿ジュニア（予選）を制した此花学院(大阪)、強豪を押しのけてきた下松工(山口)、地元の中京(愛知)県岐阜商らの仕上りは早い。

このうち、下松と岐阜は、早々と1回戦で顔を合わせるし、明星と小林工も緒戦で、星をつぶし合う。下松工は中国予選2試合で60得点、14失点のスコアを残した。

また、氷見も、滋賀国体を控えて強化の実をあげる八幡工(滋賀)とぶつかる。

青森商の評判が高いのは、昨夏のインター・ハイ出場者11人を残していることと、そのスケールの大きい攻撃にある。

北のチームは、じっくりと基礎を固めているほか、夏の大会で背負う気候的なハンデが少ない。

それだけに、青森商に注目が集まるのだ。

函館有斗（北海道）の試合ぶりも、その点で興味深いし、伝統の新居浜工を県予選で押しのけ、一気に四国代表をかち得た松山西（愛媛）が、久留米工大付に挑む試合も、注目される。

松山西は、同校の運動部のなかで初の全国大会出場という。

富岡（群馬）は、第1回以来の登場だが、かなりのまとまりをみせている。

盛岡商(岩手)、小松(石川)、倉敷商（岡山）らは、ブロック予選では2位だったが、全国大会出場が決まってから、いちだんと練習にも熱がこもり、チーム力をあげている。充分期待できる。

女子、1回戦に好カード

女子は、いわゆる名門、古豪がズラリ顔を揃え、いかにも「選抜」らしいムードだ。

そのなかで、いきなり徳山（山口)×熊本女商(熊本)、大分東(大分）×小松市女（石川）という決勝を争ってもおかしくないほどのビッグカードが、1回戦に組まれた。

この4校に、水海道二(茨城)、粉河(和歌山)、昭和学院（千葉）秋田和洋女(秋田)、涌谷（宮城）あたりが、優勝候補といわれているのだから、抽せんのいたずらとはいえ4強の激突は、少々早すぎた。

ダークホースは地元・名短大付(愛知)と暁（三重）の東海勢、それに昨夏のインター・ハイですっかり自信をつけた大正（高知）の出場も、再び話題となろう。

このほか、国体強化選手を持つ彦根西(滋賀)、初出場ながら夏の実績がある有磯(富山)、大型といわれる函館女商(北海道)、真備（岡山）なども、上位を狙って、攻守を整備している。

1、2回ごろは、春の大会は夏（インター・ハイ）の前哨戦といった感じがなくもなかったが、去年あたり、はっきり、春は春、夏は夏という「二大目標」に置きかえるチームが増えてきていた。

しかも、今春は参加校の増加、激しい試合の連続になりそうだ。

内容的にも、回を追うごとに充実している。

これは、明きらかに〝中学球界〟が拡充されたためのものだ。

春の大会は、いわば全国規模の新人戦、内容を問うより、夏へのステップという考えかたが強く前面に出ていたものだが、去年あたりは、夏に劣らぬ水準の試合が、いくつも見られた。

各校の指導者は、その一因として「中学時代、かなりみっちり基本を身につけた選手が多くなった」ことをあげている。歓迎されてよい傾向といえよう。

スケジュールは、3月25日が午前11時から男女1回戦(2面使用)26日が午前9時30分から男女2回戦と同準決勝(2面使用)、27日が午前10時から女子決勝、11時から男子決勝となっている。

◇…男　子…◇

小　　松(石　川)
函館有斗(北海道)
小 林 工(宮　崎)
明　　星(東　京)
此花学院(大　阪)
盛 岡 商(岩　手)
下 松 工(山　口)
県岐阜商(岐　阜)
久工大付(福　岡)
松 山 西(愛　媛)
氷　　見(富　山)
八 幡 工(滋　賀)
倉 敷 商(岡　山)
青 森 商(青　森)
中　　京(愛　知)
富　　岡(群　馬)

◇…女　子…◇

徳　　山(山　口)
熊本女商(熊　本)
　　暁　(三　重)
彦 根 西(滋　賀)
水海道二(茨　城)
有　　磯(富　山)
大　　正(高　知)
秋田和洋(秋　田)
涌　　谷(宮　城)
真　　備(岡　山)
粉　　河(和歌山)
名短大付(愛　知)
大 分 東(大　分)
小松市女(石　川)
函館女商(北海道)
昭和学院(千　葉)

第4回全国高校選抜大会
ブロック予選会記録

北海道（1月・函館市民体育館）

▽男子1回戦
八雲 16—11 帯広柏葉
函館大谷 14—13 恵庭南
釧路商 22—19 留萌
紋別北 12—10 室蘭東
▽同準々決勝
八雲 14（分）14 釧路湖陵
PTC4—1で八雲の勝ち
函館大谷 28—6 室蘭工
札幌西 34—9 釧路商
函館有斗 27—9 紋別北
▽同準決勝
八雲 18（6—4 12—4）8 函館大谷
函館有斗 13（7—7 6—4）11 札幌西
▽同決勝
函館有斗 18（9—6 9—6）12 八雲
函館有斗は2年ぶり3度目。
▽女子1回戦（＝準々決勝）
函館女商 18—5 釧路星園
函館商 10—3 恵庭南
上磯 8—6 札幌白石
釧路商 15—6 室蘭東
▽同準決勝
函館女商 13—9 函館商
上磯 11—6 釧路商
▽同決勝
函館女商 11（6—1 5—0）1 上磯
函館女商は初出場。

東北（1月・山形県営体育館）

▽男子予選リーグA組
盛岡商（岩手） 23—10 学法石川（福島）
青森商（青森） 21—12 盛岡商
青森商 20—10 学法石川
▽同B組
湯沢（秋田） 19—6 新庄工（山形）
仙台育英（宮城） 20—11 新庄工
湯沢 19—13 仙台育英
▽同決勝リーグ
青森商 25（14—4 11—6）10 仙台育英
盛岡商 13（6—5 7—7）12 湯沢
青森商 16（5—4 11—4）8 湯沢
盛岡商 19（11—3 8—5）8 仙台育英
青森商×盛岡商、湯沢×仙台育英は予選リーグの記録を適用。
【順位】①青森商3戦全勝②盛岡商2勝1敗③湯沢④仙台育英。
青森商と盛岡商は初。
▽女子予選リーグA組
郡山女（福島） 9—8 花巻北（岩手）
涌谷（宮城） 8—6 郡山女
涌谷 5（分）5 花巻北
▽同B組
秋田和洋女（秋田） 14—0 竹田女（山形）
秋田和洋女 12—8 青森中央（青森）
青森中央 16—8 竹田女
▽同決勝リーグ
涌谷 8（2—2 6—3）5 青森中央
秋田和洋女 7（4—1 3—5）6 郡山女
秋田和洋女 8（3—0 5—3）3 涌谷
郡山女 11（7—4 4—7）11 青森中央 引き分け
秋田和洋女×青森中央、涌谷×郡山女は予選リーグの記録を適用
【順位】①秋田和洋女3戦全勝②涌谷2勝1敗③郡山女④青森中央。
秋田和洋女は初、涌谷は2年ぶり3度目。

北信越（1月・高岡市民体育館）

▽男子リーグ
小松（石川） 14（7—4 7—9）13 上田（長野）
氷見（富山） 28（14—4 14—4）8 巻（新潟）
北陸（福井） 19（9—7 10—4）11 上田
氷見 16（6—8 10—7）15 小松
北陸 17（12—2 5—8）10 巻
上田 25（12—7 13—7）14 巻
小松 10（6—2 4—4）6 北陸
氷見 22（11—5 11—6）11 上田
小松 22（11—5 11—3）8 巻
氷見 28（12—4 16—4）8 北陸
【順位】①氷見4戦全勝②小松3勝1敗③北陸④上田⑤巻。
氷見は4年連続、小松は初出場
▽女子リーグ
新潟江南（新潟） 10（3—1 7—2）3 塩尻（長野）
小松市女（石川） 17（8—0 9—1）1 福井商（福井）
有磯（富山） 24（13—0 11—1）1 塩尻
小松市女 30（14—0 16—1）1 新潟江南
有磯 10（5—6 5—1）7 福井商
小松市女 26（13—1 13—1）2 塩尻
有磯 8（1—2 7—3）5 新潟江南
福井商 8（5—1 3—2）3 塩尻
小松市女 13（6—2 7—1）3 有磯
新潟江南 10（7—2 3—6）8 福井商
【順位】①小松市女4戦全勝②有磯3勝1敗③新潟江南④福井商⑤塩尻。
小松市女は4年連続、有磯は初

関東・北地区（1月・浦和市民体育館）

▽男子1回戦
富岡（群馬） 21（7—7 14—4）11 笠間（茨城）
川口工（埼玉） 24（13—5 11—1）6 国学院栃木（栃木）
▽同決勝
富岡 24（15—10 9—9）19 川口工
富岡は3年ぶり2度目。
▽女子1回戦
水海道二（茨城） 12（5—2 7—4）6 川口北（埼玉）
国学院栃木（栃木） 14（8—2 6—3）5 群馬女短大付（群馬）
▽同決勝
水海道二 12（5—5 7—5）10 国学院栃木
水海道二は初。

関東・南地区（2月・千葉市川学園高）

▽男子1回戦
日川（山梨） 15（9—8 6—4）12 船橋旭（千葉）
明星（東京） 14（4—6 10—3）9 法政二（神奈川）
▽同決勝
明星 21（10—8 11—8）16 日川
明星は初。
▽女子1回戦
昭和学院（千葉） 8（5—2 3—1）3 桜水商（東京）
日川（山梨） 13（6—2 7—3）5 明倫（神奈川）
▽同決勝
昭和学院 11（4—6 4—2 ： 1—1 2—0）9 日川

昭和学院は2年ぶり2度目。

東海（2月・四日市市緑地体育館）

▽男子リーグ

四日市工（三重） 11（7－6、4－4）10 静岡農（静岡）

県岐阜商（岐阜） 15（9－8、6－5）13 静岡農

県岐阜商 10（7－4、3－3）7 四日市工

【順位】①県岐阜商②四日市工③静岡農

県岐阜商は4年連続。

▽女子リーグ

暁（三重） 16（9－2、7－1）3 富田女（岐阜）

暁 6（4－2、2－4）6 静岡城北（静岡）

静岡城北 14（6－2、8－2）4 富田女

【順位】①暁②静岡城北③富田女

暁は2年ぶり2度目。

愛知県（開催地）（2月・名南工高体育館ほか）

▽男子準々決勝

中京 23－13 一宮

旭丘 20－13 豊橋工

岡崎城西 19－16 一宮西

桜台 13－11 愛知

▽同準決勝

中京 16－11 旭丘

桜台 18－13 岡崎城西

▽同決勝

中京 16（4－5、12－9）14 桜台

中京は2年ぶり2度目。

▽女子準々決勝

名短大付 9－7 西陵商

西尾 11－9 旭野

岩津 9－8 佐屋

緑ケ丘商 17－6 桜台

▽同準決勝

名短大付 16－4 西尾

緑ケ丘商 15－8 岩津

▽同決勝

名短大付 15（6－5、9－8）13 緑ケ丘商

名短大付は2年ぶり3度目。

近畿（2月・京都市体育館）

▽男子決勝リーグ

比花学院（大阪） 16－11 御坊商工（和歌山）

比花学院 19－9 八幡工（滋賀）

八幡工 20－11 御坊商工

【順位】①比花学院②八幡工③御坊商工

比花学院は2年連続3度目、八幡工は初。

▽女子決勝リーグ

粉河（和歌山） 7－6 彦根西（滋賀）

彦根西 11－3 添上（奈良）

粉河 15－2 添上

【順位】①粉河②彦根西③添上

粉河と彦根西は初出場。

（注）決勝リーグ以外の記録未着。

四国（2月・松山総合体育館）

▽男子1回戦

高松南（香川） 20（10－7、10－6）13 土佐（高知）

松山西（愛媛） 26（16－4、10－5）9 池田（徳島）

▽同決勝

松山西 19（10－7、9－7）14 高松南

松山西は初。

▽女子1回戦

松山北（愛媛） 7（6－3、1－3）6 丸亀（香川）

大正（高知） 16（7－1、9－7）8 富岡東（徳島）

▽同決勝

大正 12（2－8、7－1……1－1、2－0）10 松山北

大正は初。

中国（1月・岡山県体育館）

▽男子1回戦（1試合）

下松工（山口） 24（11－4、13－7）11 松江工（島根）

▽同準決勝（中国代表決定戦）

倉敷商（岡山） 11（4－3、7－4）7 修道（広島）

下松工 27（14－4、13－4）8 境港工（鳥取）

下松工と倉敷商は初。

▽決勝

下松工 33（15－3、18－3）6 倉敷商

▽女子1回戦（1試合）

比治山女（広島） 11（7－3、4－7）10 米子南商（鳥取）

▽同準決勝（中国代表決定戦）

徳山（山口） 17（8－2、9－5）7 松江一（島根）

真備（岡山） 8（4－1、4－4）5 比治山女

徳山は4年連続、真備は初。

▽決勝

徳山 11（7－2、4－2）4 真備

九州・北地区（2月・熊本市体育館）

▽男子1回戦

瓊浦（長崎） 16（7－5、9－5）10 大分電波（大分）

久工大付（福岡） 25（11－4、14－4）8 神埼農（佐賀）

小倉西（福岡） 20（11－4、9－10）14 大分東（大分）

佐世保北（長崎） 20（9－8、11－9）17 佐賀農（佐賀）

▽同準決勝

久工大付 17（7－4、10－5）9 瓊浦

小倉西 18（12－5、6－5）10 佐世保北

▽同決勝

久工大付 12（8－6、4－5）11 小倉西

久留米工大付属は2年ぶり3度目。

▽女子1回戦

大分東（大分） 7（4－3、3－3）6 嬉野（佐賀）

筑紫女学園（福岡） 10（3－1、5－7……0－0、2－0）8 島原農（長崎）

東海大五（福岡） 10（6－1、4－2）3 佐世保商（長崎）

神埼農（佐賀） 12（7－4、5－7）11 佐賀関（大分）

▽同準決勝

大分東 10（4－2、6－4）6 筑紫女学園

東海大五 11（2－4、7－5……1－0、1－1）10 神埼農

▽同決勝

大分東 10（4－5、6－4）9 東海大五

大分東は初。

九州・南地区（2月・熊本市体育館）

▽男子1回戦

小林工（宮崎） 19（8－4、11－7）11 鹿児島工（鹿児島）

前原（沖縄） 16（8－8、8－7）15 鎮西（熊本）

済々黌（熊本） 14（8－3、6－6）9 宮古農林（沖縄）

延岡東（宮崎） 14（6－5、8－5）10 薩南工（鹿児島）

▽同準決勝

小林工 22（7－4、15－6）10 前原

済々黌 14（4－3、10－6）9 延岡東

▽同決勝

小林工 18（8－3、10－2）5 済々黌

小林工は初。

▽女子1回戦

熊本女商（熊本） 17（9－0、8－2）2 豊見城（沖縄）

国分実業（鹿児島） 5（4－2、1－2）4 小林商（宮崎）

牧園（鹿児島） 5（4－3、1－1）4 延岡（宮崎）

熊本市立（熊本） 14（9－2、5－5）7 前原（沖縄）

▽同準決勝

熊本女商 11（6－1、5－2）3 国分実業

熊本市立 12（7－2、5－2）4 牧園

▽同決勝

熊本女商 13（6－1、7－3）4 熊本市立

熊本女商は3年ぶり2度目。

'80年代、再びシビックから始まります。 7年の歳月を刻み、世界89ヵ国200万台*の実績をたずさえて、シビックはいま飛躍的な変貌をとげました。'80年代に世界が求める車とは何か。「実質」と「感性」の両面から、これを徹底して追求した結果、あのシビックを遙かに凌いだ見事に高質の車が誕生したのです。■リッター18km(1500CE 型式E-SR 10モード走行・運輸省審査値)28km(1500CE 型式E-SR, CF(5速車) E-ST 60km/h・定地走行テスト値)の低燃費。■経済性を高めながら、スポーツカーを想わせる強烈な動力性能。■スリムなボディに驚くほど広い室内。■高級車なみの静けさと高いクォリティ。■しかもこれらを従来同様の低価格で実現したこと。先進の思想をしっかりと受け継ぎながら、再び時代を画する素晴らしい車に生まれ変わったのです。車づくりに新しい流れ(トレンド)をつくるニュートレンドカー、スーパー・シビック。いま世界の街へ。

*昭和54年8月現在 総生産台数(自工会調べ)

先んじる思想。ニュートレンドカー

CIVIC

ムリな運転はやめてガソリンを大切に。
シートベルトを締めましょう。

HONDA

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593:78—1212〈代表〉

大会ガイド

男・韓国社会人選抜 女・韓国造幣公社 ―来日

全日本実連は、55年度の日韓社会人交流（男子第8回、女子第9回）を、3月22日から29日まで日本で行う予定である。

来日するのは、男子が韓国社会人選抜、女子が韓国造幣公社。"日韓全面対決の年"といわれる新シーズンの開幕を前に、韓国ナショナル、同ジュニアナショナルの主力を含んだ両チームを迎えてのシリーズは、これまでにない激しい戦いとなりそうだ。

この交流戦は、男女交互に遠征し合って行われていたものだが、昨夏に予定された男子（日本側遠征）が、韓国側の事情で延期され大韓協会と全日本実連の話し合いで今回初めて、男女同時開催となった。

新シーズンは、5月の世界ジュニア（女子）の予選に始って、秋には世界男子、来年2月には世界女子のアジア予選が予定され、いずれも、日本の最大の強敵は韓国とみられている。

それだけに、韓国の代表的選手が顔を並べた両チームの来日は、大きな注目を集めている。

男子は、韓国社会人の主力が大学OB主体のクラブとあってか、ピックアップチームが編成されてきた。

このうち金、林の両GKをはじめ林（英）、裵（徳）、李（尚）、朴（敬）、李（相）、崔の8人がモスクワオリンピック予選（54年11月・台湾）出場者だ。

李（尚）をはじめいずれも鋭い攻撃力は定評があり、裵（徳）は全北大のエースとしても来日したことがある。

また、朴（敬）、崔、李（相）に朴（秉）を加えたトリオは、韓国期待の若手だ。

朴（敬）は、2年前、裵（世）とともに永東高のダブル・エースとして名をはせ、朴（秉）は、昨夏来日した東亜高の切り札で、日本（関東）の高校ディフェンスをキリキリ舞いさせている。李（相）は2年前の東亜高の得点源。

韓国男子の当面の目標は「ロサンゼルス・オリンピック（一九八四）」といわれるが、ハイティーン6人を含む平均年令20才という今回のチーム構成は、明きらかにその核となるべき狙いが含まれている、といってよかろう。

迎える日本勢は、各地の社会人実業団の混成軍が主だが、興味深いのは横浜（27日）に組まれた全日本ジュニア戦。

世界ジュニア予選を前に、実戦経験を、というコーチングスタッフの希望から、急きょ行われることになったもの。

一方、女子は、かねてから日本のファンの間で来日が待たれていた韓国造幣公社が初登場する。

残念ながら、3年前の世界女子選手権（チェコ）を沸かせた李相玉、李京姫は引退してしまい、ガラリとメンバーを代えているが、李（明）、李（仁）、任らが健在、昨年までジュニアに加っていたGK李をはじめ10代の大型選手がズラリ揃っているのは、相変らずこのチームが仁川市庁と並んで、韓国女子界の重点強化チームであることを物語っている。

FPの平均身長165cmは、日本チームをしのぐものであり、この壁を、どう切り崩すか、防ぎ切るかは、日本ナショナルや同ジュニアナショナルの今後の戦いかたにも大きく関係してくる。

日本側の関係者も、このあたりを、はっきり認識しており、日本リーグ優勝の立石電機（22日）、国体優勝の日立栃木（29日）らが、対戦の名乗りをあげた。

男子の全日本ジュニア戦同ようこれまでにない火花の散るような好試合が連続しそうである。

これまでの通算成績は、男子が日本側の35戦21勝2分12敗、女子が日本側の38戦22勝1分15敗。正式日程は3月10日ごろ発表される

スケジュール（予定）

- 3月22日（日）
  男・呉社会人選抜（14時・呉市体育館）
  女・立石電機（14時・熊本市体育館）
- 24日（火）
  男・近畿実連選抜
  女・大和銀行（14時・大阪ガス体育館）
- 25日（水）
  男・女・ 対戦未定（場合により試合なし）
- 26日（木）
  男・愛知実連選抜
  女・ブラザー工業（17時・名古屋市体育館）
- 27日（金）
  男・全日本ジュニア（18時・横浜平沼記念体育館）
- 28日（土）
  男・女 大崎電気（17時・大崎電気埼玉体育館）
- 29日（日）
  女・日立栃木（15時・日立栃木体育館）
- 試合時間は変更の場合があります。

来日選手団

○…男子・韓国社会人選抜…○

- 団長 金顕九（韓国協会副会長）
- 総務 陸成洙（韓国協会技術委員）
- 監督 成鍾元（韓国協会理事）
- コーチ 柳在忠（韓国協会技術委員）
- 選手
  GK ○金良鉉（22才184cm）
  ○林圭夏（23 185）
  FP ○林英喆（20 177）
  成永俊（21 188）
  ○裵徳寿（22 177）
  裵泰求（20 177）
  ○李尚雨（21 184）
  朱参者（21 172）
  裵世容（19 175）
  ○李相孝（19 181）
  ○朴敬守（19 175）
  朴秉洪（17 177）
  ○崔太燮（18 181）
  李鎬赫（18 181）

○…女子・韓国造幣公社…○

- 団長 金鍾爽（造幣公社）
- 総務 朴環雨（忠南協会専務理事）
- 監督 梁熙文（造幣公社）
- コーチ 金東善（造幣公社）
- 選手
  GK 李慶任（19才169cm）
  張世天（21 170）
  FP ○李明淑（19 165）
  金順淑（23 167）
  金先玉（19 165）
  宋南庸（20 162）
  ○李仁淑（20 173）
  河永玉（18 165）
  金敬愛（19 163）
  朴幸王（19 166）
  任昌淑（22 163）
  辺銀柱（18 166）
  韓福男（17 164）
  裵香淑（19 164）
- ◎印はモスクワ五輪予選代表選手

E・エリアス氏による レフェリーコース報告

日本協会審判部

日本協会は、日本体協の補助事業として、競技力向上の一端を担うレフェリー部門の強化を目指しIHF規則・審判委員会の有力メンバー、エリック・エリアス氏（スウェーデン）を招き、昨年12月14日から19日まで、東京で「レフェリー講習会」を開いた。

折しも、IHF（国際ハンドボール連盟）は、新たなオリンピアドに向かって、競技規則の改正を検討しており、81年8月1日より施行されることになっている時でもあり、また、名古屋オリンピックの招致も具体化、講習会の開催は、意義深いものであった。

開催準備期間の不足もあり、不備な点も出たが、講習会に対するエリアス氏の懸命な態度と、受講者の熱心な受講ぶりは、これを補うに充分、その成果もまた満足すべきものであった。

当初の計画としては、この講習会において「パネルBレフェリー」に対して「パネルAレフェリー」になるためのテストを行うよう日本協会はIHF規則・審判委に要求したが、IHFは、新競技規則が施行される以前には、テストは行わないことになっている、とのことで、実施されなかった。

講習会の運営（スケジュール）と、内容は次のとおりである。

講習会スケジュール

◇12月14日　午前9時40分、E・エリアス氏成田国際空港着。

午後4時、講習会の運営、内容についての打合せ。

午後6時、日本協会主催の歓迎レセプション。

◇12月15日　午前10時〜午後2時 講習会第1日「競技規則の解説とレフェリーの方法①」（日本青年館会議室）

◇12月16日　午前9時〜午後2時 講習会第2日「競技規則の解説とレフェリーの方法②」（日本青年館会議室）

午後3時〜4時、講習「レフェリー方法の実際と指導①」（東京体育館）

◇12月18日　午後1時〜午後8時 講習会第3日「レフェリー方法の実際と指導②」（東京体育館）

◇12月19日　午前9時〜正午　講習会最終日「競技規則の解説とレフェリーの方法③」（日本青年館会議室）

午後0時30分〜午後1時30分、参加者全員による「ランチ・パーティ」

午後2時30分〜午後5時30分、講習「レフェリー方法の実際と指導③」（東京体育館）

なお、E・エリアス氏は12月16日夜、名古屋へ向かい、名古屋オリンピックの会場予定施設を観察関係者とこん談、18日正午東京へ帰着した。

◇

講習会では、豊富な資料によってオーバー・ヘッド・プロジェクター（O・H・P）を駆使し解説、受講者の理解をより容易にした。

また、その区切り々々でIHF規則・審判委員会の作ったテスト（A〜E）を実施、講習の成果を確認しながら進められた。

講習会全体の評価および、テストに対する評価は、エリアス氏のIHFへの報告が、同氏自身から日本協会へコピーを郵送してきたので19頁に掲載しておく。

競技規則の解説と レフェリーの方法

E・エリアス氏は、ハンドボールのチームを強くするため、また普及するには、まず、監督、コーチ、レフェリー、チーム役員を教育することが重要であると前置きして、レフェリーは、次のことを考えなければならないと述べた。

。ルールに精通し、その適用も競技場内外にあっても、つねに、競技のリーダーでなければならない。

。他の模範であるべきで、英雄になってはいけない。

。体格と体位が優れていて、走れることが必要である。

。2名のレフェリーは、相互に助け合い、協力すること。

。相互の批評は、クラブハウス内では多くするが、クラブハウス外では、けして行ってはいけない

。終了後にも、ミスジャッジについては、深く反省すべきである

。良い笛を吹こうと思っているほど、ミスは多くなる。

◆**具体例による解説**

①「明きらかな得点」のチャンスの解釈

プレイヤーがボールを完全にコントロールしていて、ゴールキーパーとの間に、相手のプレイヤーが居ない状態の時の反則は、ペナルテイ・スローである。

もし、その間にプレイヤーが居た時の反則は、フリースローである。

自己のゴール側
3メートル

相手ゴール近くは
0メートル

②「タイムアウト」

・競技時間の中には、タイムアウトは含まれていない。したがって、レフェリーは、必要に応じてタイムアウトをとるべきである。

・両レフェリーは、どちらでもタイムアウトをとることができる

・失格、追放の時は、まずタイムアウトをとってから失格、追放にする。

・2分間退場の時に、時間がかかるようであれば、タイムアウトをとる。

・タイムアウトのゼスチャーは笛を3回吹き、頭上で「T」の字をつくる。タイムアウト後の競技開始には、必らず笛を吹く。

③レフェリーとオフィシャルとの連絡

レフェリーが警告（イエロー・カード）した時には、オフィシャ

ルもイエロー・カードを示す。2分間退場の時には、オフィシャルも2本指を示す。

④個人反則の段階
注意→警告（1回のみ）→退場→失格→追放。

⑤チーム反則の段階
フリースロー→ペナルティ・スロー→警告→退場→追放。
いずれの場合でも重大な違反の時は、失格または追放である。

⑥ファウルスロー(スローイン)について
位置を間違ったままスローしてしまった時……
・その位置より前方(攻撃方向)にスローした時は、位置を正し、やりなおす。
・その位置より後半にスロンされた時は、そのまま競技は続行される。

⑦相手に対する動作、身体接触と反則の適用。
ボールに関係のない反則か、ボールを保持している相手に対する反則か、を考え適用する。

⑧ゴールキーパーのスロンを妨害した場合
ゴールエリア内で、スローを妨害したプレイヤーは、2分間の退場である。
(注)新ルールでは、ゴールスローを、ゴールエリア内で妨害した時も退場となる。

⑨ベンチにいるチーム役員、プレイヤーに対する反スポーツマンシップ
注意→警告→失格。

⑩フリースローの時のポイントの許容範囲
前頁の図の斜線内のポイントの場合は許される。
フリースローの与えかたは1、方向指示。2、理由。3、位置（ポイント指示）とする。
また、ボール保持プレイヤーの位置が移動していなければ、ポイントの指示にレフェリーは、行かなくてもよい。

実技指導

エリアス氏による実技の指導は受講者全員にレフェリーの＜観察用紙＞（個人採点表）が配付されチェックポイントを説明、全日本総合選手権（東京体育館）のレフェリーを、ゲーム別に観察して採点が行われた。

受講者は一般観衆と別の観らん席に集合して、観察をしながらエリアス氏を囲んでディスカッションが行われた。

ゲーム終了時には、担当レフェリーに対し、エリアス氏から詳細な注意とアドバイスが具体的な例をあげて、的確に指導された。

最後に受講者全員の採点表が担当レフェリー本人に渡され、自己反省の資料にするよう指示された。

新競技規則の任な改正点の解説

ＩＨＦは、今夏8月1日から競技規則の一部改正を行なうが、その主な改正点は、次のとおりである。

①成年（18才以上）の男子及び女子の競技時間は「30分ハーフ」とする。
(注)国内の大会については、各大会の規定による。

②2名のレフェリーは「ファーストネーム・レフェリー」と「セカンドネーム・レフェリー」とになり、競技開始時の位置が規定される。

③タイムアウトをとった時でも競技場には7名のプレイヤー以外は、レフェリーの許可がなければな入ることはできない

④チーム役員の代表を責任者として、記録用紙に記入され、競技役員と交渉することができる

⑤プレイヤーの不正交替は、1回目から2分間退場となる。

⑥スローインの方法が次のようになる……。
ボールが出た地点のサイドライン上に片足を置き、スローを行なう。
他方の足は、競技場の内外いずれにあってもよい。
コーナースローはなくなり、レフェリーの笛なしで、コーナーからのスローインとなる。

⑦ゴールエリアラインとフリースローラインの間でおこったフリースローは、反則のあった地点に最も近い、フリースローラインの外側からスローを行なう。

⑧反則後のボールは、すぐ下に置く。
ボールを持ち去ったり、ほおりだしたりした時は、2分間の退場となる。

⑨明らかな得点のチャンスの時のみ、ペナルティスローが与えられる。
「明きらかな得点のチャンス」とは、ボールを完全にコントロールしているプレイーとゴールキーパーとの間に、相手プレイヤーが居ない時である。

⑩ペナルティスローの時、攻撃側のプレイヤーがフリースローラインを踏んだり、入った時は、防ぎょ側のフリースローとなる。

⑪レフェリースローの方法が変更される……。
レフェリースローは「ジャンプボール」になる。両チームから1名づつ出て、自分のゴールに向かって立ち、レフェリーがボールを上にあげ、それをジャンプしてタップスル。他のプレイヤーは、タップするまで3m以内に入れない

⑫すべてのスローは、直接得点することができる。

⑬警告はプレイヤーに対しては1回だけ与えられる。チームに対しては3回与えられそれ以後はすべて退場となる。

⑭プレイヤー及びチーム役員を失格させる時は、まずタイムアウトをとり「レッドカード」を高く示す。「レッドカード」の大きさは9×12㎝である。

⑮旧キーパースローがゴールスローとなる。ゴールスローの時、ゴールエリア外で防ぎょ側プレイヤーは防ぎょすることができる。

⑯センターレフェリーとゴールレフェリーの判定が違った時には笛を吹いてから競技を開始する。

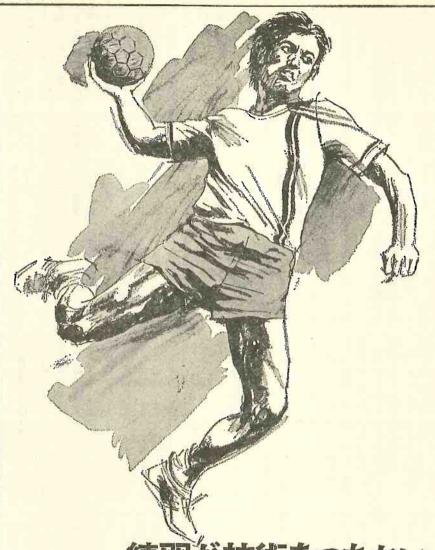
⑰失格、追放を宣告する時は、必らずタイムアウトをとり、オフィシャルに行って、選手名(氏名)を呼び確認して、競技場およびベンチから去らせる。

⑱1名のレフェリーが競技中に事故で退場した時は、残った名のレフェリーによって競技を続行。

⑲レフェリーは、競技終了後、記録用紙の確認をする。

⑳レフェリーは、競技場のプレイヤーを、反スポーツマンシップで失格させることができる。

新競技規則のつのポイント

エリアス氏によれば、新しいルールは、次の3つのポイント（狙い）で作られている。
1、きれいなゲーム。
2、スピーディ。
3、優しいルール。

練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社

E・エリアス氏のＩＨＦに対するリポート（全文）

〔1980年12月15〜20日の東京におけるレフェリーについて〕日本ハンドボール協会からの招待にもとずき，私は12月15日から20日まで東京に於て日本の25名のベストレフェリーを指導いたしました。

その講習会は細部にいたるまで日本ハンドボール協会理事長荒川清美氏および日本のＰＲＣ委員長安藤純光氏によりアレンジがなされました。私は最高の手厚いもてなしを受け，最高級のホテルに宿泊しました。また日本の友人達は，私の仕事をやりやすくするために最上をつくしてくれました。またＩＨＦ理事渡辺和美氏は私の活動に深い関心をよせ，私をあたたかくもてなしてくれた。

日本のレフェリーのレベルについて私は非常に良いとおどろいたことを報告しなければなりません。彼らはルールについて非常に理論的知識をもっているだけでなく，その知識をどのように使えばよいかも知っています。他の国に於ても同じように私は数多くのペーパーテストをしました。正しい解答の平均は少なくともヨーロッパでの平均と同じでした。若い日本のレフェリーの一人は，25問中24問に正しい解答をするという新らしい「世界記録」を作りました。

私の東京滞在中に日本の男女選手権大会が行なわれたので，理論の指導と実践が非常に満足すべき方法で結合することができた。礼儀正しいアジア人の天性によるものであるが，ゲームの間中，受講者達は他の観衆とは離れた席で私の指導のもとにレフェリーの動作について討論し，批評することを受入れてくれた。これはレフェリーの動作，方法について私の考えを伝える良い方法であると思う。

しかし，現在のヨーロッパのハンドボールと日本のハンドボールとの間には大きな違いがあります。日本は私達が求めているクリーンで楽しいハンドボールをプレイしており，ルール第条は，レフェリーに何のトラブルも与えていない。したがって，このルールをタフなヨーロッパのゲームにどのように適用するか私には意見のいいようがない。日本のチーム以外のチームの入っているゲームを日本のレフェリーに担当させることが必要である。そして，そのとき講師の監視のもとで実施する必要がある。もちろん新ルールは日本のクリーンなハンドボールとヨーロッパのタフなハンドボールプレイの間の違いを解消することになるであろう。

（私はスエーデンハンドボール協会から男子チームの交流について話し合うよう委任を受けていた。その討論に於て私は日本およびスエーデンの両国において行なわれる交流競技が１人の日本人レフェリーと１人のスエーデン人のレフェリーにより運行されるように，レフェリーの交流も含める提案をした）

外国語でのレフェリーコースを成功させるためには，特に現在進行中の競技を対象とする場合，使われている言語を知っている完全な通訳であるだけではなく，その通訳がハンドボールを知っていることが非常に重要なことである。

名古屋を訪問して，私は1988年夏季オリンピック大会を招致するため一生懸命働いている人々に会った。私は最高級のいくつかのハンドボールの施設を見せてもらい，もし，ＩＯＣが名古屋を選ぶならハンドボールは非常に十分に施設の面で満ち足りるであろうことに疑いないことを知った。しかし私は名古屋の友人にもし私個人の意見がＯＫでも私はＩＨＦのために公式に発言する権限のないことをはっきりしておかなければならない。

忙しかった一週間をふりかえり，日本のレフェリーとの接触は，お互に価値あるものであったし，またこの地域でのレフェリーの発展に貢献できたことを嬉しく思います。　（訳・日本協会国際部）

"まごころのおつきあい"が
私たちのモットーです

あなたの銀行

北國銀行

●本店　石川県金沢市下堤町　●店舗　石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ

東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイスショットも、命がけで逃げなければなりません。そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あなたのゴルフ場は完璧です。
落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、雷災から完全に保護されます。

大崎電氣工業株式會社
本社　東京都品川区東五反田二丁目二番七号
☎ (03) 443−7171 (大代表)　〒141

FYケージ
防雷シエルター
工業所有権出願中
特許3件
実用新案4件
意匠5件
商標1件

ムネカタ1部へ復帰

日本リーグ入れ替え戦

昭和55年度日本リーグ1・2部入れ替え戦は、1月30、31日東京・駒沢体育館、2月1日日立栃木体育館で、男女とも1部下位2チーム、2部上位2チームによる総当り戦法式で行われた。

男子は大阪イーグルス（1部5位）、三陽商会（東京、1部6位）、大崎電気（埼玉2部1位）が2勝1敗で並んだが、規定でイーグルス、三陽の1部残留となった。

女子も大激戦で北国銀行（石川、1部7位）、ムネカタ（福島、2部1位）、大和銀行（大阪、2部2位）が2勝1敗の同率。規定で北国は残留ムネカタが2シーズンぶりで復帰を決めた。

◆男子▽第1日（駒沢）

大阪イーグルス（大阪1部⑤）23（11−5、12−7）12 三景（東京・2部②）

（得点者）【イ】辻本、源野各7、高橋4、福井3、大西2。【三】中馬4、地主園3、鈴木2、山村、加藤、島中各1

大阪のスピードのある攻撃に三景守備陣が、かく乱された。三景は攻守とも組織力に欠けた。

大崎電気（埼玉・2部①）22（11−6、11−7）13 三陽商会（東京・1部⑥）

（得点者）【大】長野7、佐伯5、斉藤、松岡各3、新田、東江各2【陽】山口6、屋形4、関、近森、鵜沢各1。

大崎は、多彩な攻撃とGK岡部の好守で三陽を突き放した。三陽は強引な攻めが多く自滅といえた

▽第2日（駒沢）

三陽商会 23（11−10、12−7）17 三景

（得点者）【陽】関9、山口5、鵜沢、尾形各3、金子2、稲木1。【三】鈴木8、中馬3、山村、島中地主園各2。

勝負は後半5分14−13のあと三陽が5点連取して決まった。

大阪イーグルス 19（11−10、8−8）18 大崎電気

（得点者）【イ】福井8、大西4、高橋3、河原崎、辻本各2。【大】長野6、松岡4、東江3、斉藤、佐伯各2、新田1。

後半20分16−16と伯仲、大阪が福井の連続ゴールで18−16と先行すれば、大崎も長野がすぐ2ゴール、大阪はこのあと高橋で得た勝ちこし点を巧く守り切った。

▽第3日（栃木）

大崎電気 21（8−7、13−11）18 三景

（得点者）【大】長野9、斉藤4、佐伯3、松岡、東江各2、新田1【三】鈴木6、山村、加藤、地主園各3、島中2、中馬1。

大崎は残り5分17−17から三景・山村に先行点を許し苦しかったが、斉藤の力感あふれる攻撃などで4点連取、みごとな逆転勝ち。

三陽商会 21（9−11、12−9）20 大阪イーグルス

（得点者）【陽】関10、山口、尾形各4、鵜沢2、金子1。【イ】辻本9、福井7、大西2、源野、河原崎各1。

三陽は勝てば残留という気持ちにはやりすぎ攻撃が荒く、巧者を揃えた大阪に、後半10分10−15とリードされた。

しかし、この辺りから、かえってリラックス、疲れのみえた大阪陣を攻略し、関の大活躍などあって19分同点（17−17）、一進一退のあと28分尾形が貴重な勝ちこしシュートを決めて勝利を握った。

【順位】①大阪イーグルス2勝1敗②三陽商会2勝1敗〜以上1部〜③大崎電気2勝1敗④三景3敗

大和、2勝も実らず

◆女子▽第1日

ムネカタ（福島・2部①）13（5−2、8−7）9 東京重機工業（東京1部⑧）

（得点者）【ム】広田6、石田3、物井2、永野1。【重】寺西3、川本、宮田各2、沖山、鈴木久各1

前半終了間ぎわから先手をとったムネカタは、後半も手固く得点13分10−5として、重機を突き放した。

大和銀行（大阪・2部②）10（6−2、4−6）8 北国銀行（石川・1部⑦）

（得点者）【大】若杉7、西田2、米山1。【北】木戸、八木各3、本田、木内各1

4点の劣勢を、後半15分までに一気にひっくり返した北国が勢いづくかと思えたが、大和は残り3分8−8から若杉で先行、米山がダメを押し勝利をもぎとった。

▽第2日

大和銀行 17（10−8、7−6）14 東京重機工業

（得点者）【大】千原5、若杉、米山各4、宮本3、鈴木1。【重】川本7、鈴木4、沖山3。

後半立ちあがり3点連取した大和は、いちど2点差とされたが、終盤再び好ペース、逃げ切った。

北国銀行 9（4−5、5−2）7 ムネカタ

（得点者）【北】千歩3、本田、木戸、八木各2。【ム】清水3、岡部2、石田、物井各1。

北国が底力を出した。特に後半ムネカタの攻撃をPT点（2）だけにおさえた守備力はみごと。これで重機の2部降格が決まった。

▽第3日

ムネカタ 13（6−4、7−8）12 大和銀行

（得点者）【ム】清水4、広田、石田各3、物井2、岡部1。【大】若杉5、宮本、米山各3、鈴木1。

ムネカタが後半3本のPTを活かして優位をキープ、大和は残り4分9−13から3点連取の追いこみをみせたが及ばず。

ムネカタは、この1勝で2シーズンぶりの1部復帰が決まった。

逆に大和は、前日まで1部勢から2勝をあげたものの、北国×重機戦の結果待ちとなった。

北国銀行 11（5−4、6−6）10 東京重機工業

（得点者）【北】千歩5、八木4、本田、木戸各1。【重】川本5、沖山2、寺西、古谷、鈴木久各1。

大和の敗戦で残留の望みが出た北国は、いちど奪われた主導権を握りなおすなど気迫のこもった攻守で残り4分11−8、勝利を決定的にした。

【順位】①北国銀行2勝1敗②ムネカタ2勝1敗〜以上1部へ〜③大和銀行2勝1敗④東京重機工業3敗。

◆**大会規定** 同率の場合は1部での順位または2部での順位を適用する。

この看板のお店でご相談ください。

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB₁・肝臓分解エキス・ビタミンB₁₂製剤

キヨーレオピン

●朝鮮人参・麝香・牛黄・ビタミンB₁・にんにく抽出エキス製剤

レオピンファイブ

週に一度はスポーツを

健康づくりは毎日の快眠・快食から…

それに適度なスポーツも欠かせません。

私達は皆様の健康を願って

薬品づくりに努めます。

湧永薬品株式会社

ワクナガ

本　　社　〒553　大阪市福島区福島3丁目1番39号
TEL (06) 458-8901

中央研究所　〒729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲立1624
広島工場　TEL (082645) 2331

技術の原点オートメーション機能部品

産業用無人化システム

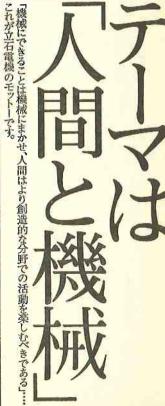
都市の交通制御システム

鉄道の駅務自動化システム

銀行の窓口省力化システム

ガソリン・スタンドのPOSシステム

オフィスのコンピュータ・システム

小売店頭の電子レジスター

立石電機

立石電機株式会社／本社
〒616 京都市右京区花園土堂町10
TEL 075(463)1161大代

中村荷役運輸が初優勝

～全国実業団トーナメント～

第11回全国実業団男子トーナメントは、2月7日から9日までの3日間、神戸・王子スポーツセンター（7、8日は神戸中央体育館併用）に32チームが参加して行われ、チーム結成1年足らずの中村荷役運輸（東京）が、日本リーグ2部所属の古豪・トヨタ車体（愛知）を破り、初優勝を飾った。

▽1回戦

自衛隊勝田（茨城）30（14－3、16－4）7 美津濃（大阪）

トヨタ自工（愛知）13（8－6、5－5）11 丸善石油松山（愛媛）

中村荷役運輸（東京）35（18－2、17－3）5 住友金属和歌山（和歌山）

新日鉄名古屋（愛知）20（11－4、9－8）12 三井石油化学（山口）

丸善石油下津（和歌山）29（15－9、14－13）22 自衛隊岩国（山口）

セントラル自動車（神奈川）15（4－5、11－7）12 金沢市役所（石川）

自衛隊下総（千葉）20（13－4、7－10）14 日本碍子（愛知）

大阪ガス（大阪）27（13－5、14－5）10 豊田自動織機（愛知）

興亜石油（山口）18（11－5、7－10）15 鐘渕化学（兵庫）

新日鉄大分（大分）29（15－6、14－2）8 日進商会（神奈川）

トヨタ車体（愛知）31（14－2、17－1）3 日本鋼管福山（広島）

日本発条（神奈川）29（15－3、14－2）5 住友銀行（大阪）

日本原子力研究所（茨城）33（15－5、18－1）6 兵庫ダイハツ（兵庫）

自衛隊福島（福島）28（11－13、17－10）23 川崎重工（兵庫）

東京重機（東京）25（13－4、12－4）8 武田薬品光（山口）

神戸製鋼（兵庫）15（7－7、8－5）12 丸善石油千葉（千葉）

▽2回戦

自衛隊勝田 18（11－8、7－5）13 トヨタ自工

中村荷役運輸 26（16－2、10－4）6 新日鉄名古屋

丸善石油下津 20（7－9、13－7）16 セントラル自動車

新日鉄大分 23（9－10、14－5）15 興亜石油

神戸製鋼 19（9－6、10－10）16 自衛隊下総

トヨタ車体 23（10－2、13－6）8 日本原子力研究所

大阪ガス 20（12－9、8－8）17 日本発条

東京重機 28（17－9、11－9）18 自衛隊福島

丸善下津、新日鉄にPT勝ち

▽準々決勝

トヨタ車体 23（15－5、8－6）11 神戸製鋼

中村荷役運輸 26（12－16、14－7）23 自衛隊勝田

丸善石油下津 29（4－3、1－2：11－12、13－12）29 新日鉄大分

PTC5－4で丸善石油の勝ち

東京重機 18（9－9、9－6）15 大阪ガス

トヨタ車体、後半引き放す

▽準決勝

中村荷役運輸 22（11－10、11－8）18 丸善石油下津

得	【中村】		【丸善】	得
0	飯塚	GK	谷口	0
		GK	海端	0
0	飯田	FP	善岡	4
5	松本	FP	塩崎	4
2	坂口	FP	金谷	0
11	西窪	FP	加古	9
2	加納	FP	北畑	0
0	大林	FP	楠山	0
0	辻	FP	中崎	1
2	大杉	FP	松本	0
0	福士	FP	刀祢	0

（審・光嶋、井上）

22（5）PT（4）18

トヨタ車体 21（12－8、9－8）16 東京重機

得	【トヨ】		【重機】	得
0	近藤	GK	衣笠	0
5	中島	FP	青木	0
0	横尾	FP	宇野	3
4	萩原	FP	千葉	3
4	羽立	FP	佐藤	1
3	森岡	FP	雨宮	6
4	宮松	FP	奥山	3
1	山田	FP	福地	0
0	高橋	FP		
0	牧	FP		
0	大塚	FP		

（審・大原、梅田）

21（1）PT（2）16

▽3位決定戦

東京重機 25（11－12、14－12）24 丸善石油下津

▽決勝

中村荷役運輸 23（12－9、11－7）16 トヨタ車体

得	【中村】		【トヨ】	得
0	飯塚	GK	近藤	0
		GK	工藤	0
5	松本	FP	中島	3
1	加納	FP	宮松	3
1	飯田	FP	羽立	1
9	西窪	FP	萩原	5
0	大林	FP	森岡	2
1	坂口	FP	高橋	2
3	辻	FP	横尾	0
3	大杉	FP	山田	0
0	福士	FP	大塚	0
		FP	牧	0

（審・新井、幸田）

23（1）PT（1）16

6チーム縮少案まとまらず

日本リーグ女子1部

日本リーグ運営委員会は2月21日東京で常任委員会を開き、検討をつづけている女子1部の6チーム案（現行8チーム）について協議したがまとまらず、結論を次回へ持ちこした。

新規事業として「東西対抗」または「オールスター・ゲーム」の開催を研究することが決まった。

全日本女子、今夏に訪欧か

日本協会強化部の女子コーチ会議が1月31日東京で開かれ、世界ジュニア予選の候補選手15～20名を決定（選手名未発表）、4月～6月に予想される予選に備えた。また、日本リーグ前期終了後の今夏7月中旬から約2週間に予定するヨーロッパ遠征（本誌188号既報）の具体化を急ぐことに決めた。

限りない未来へ

日本ではじめてステンレスの近代的生産方式を導入、大量生産を可能にし、ステンレスをより身近かなものにしたのは日新製鋼です。
当社は《くらしと鉄を結ぶ月星印》をモットーに、このステンレス鋼をはじめ普通鋼、特殊鋼、表面処理鋼板などを生産し、豊かな未来を目指して歩み続ける総合スチールメーカーです。

第8回 世界学生選手権に参加して

～選手寄稿～

日体大 井藤 英忠

私は何回も海外遠征などへ参加しましたが、今回のように私達4年生中心で、大きな大会でプレーできたことは大変良い経験になったと思ろ。まず対戦した他国の学生達について述べれば、純学生で本大会に出場したのは日本チームだけといっていいと思ろ。日本と外国との学生という基準、年令などの違いでまず外国が有利に思ろソ連を例に上げれば、25、26才がほとんどで西山君達と同じジュニアで活躍した選手が試合には使ってもらえなかった。層の厚さを感じました。私はゴールキーパーなのGKでについて少し思った事を書きます。私が見たプレーヤーの中で「これはすごい」と思ったGKにはやり優勝したルーマニアのGK。身長に長い手足を十分に生かしたキーピングはルーマニアを優勝に大きく導いたと思う。ディフェンスの高さに、シュートの角度、それがこのキーパーにはふつうのシュートのようにしか見えない。私であれば、ロングシュートもフリーになってしまえばずっと前へ飛び出さなければいけないのですが、ゴールの1mぐらい前でシュートをさばける高さが彼を生かし守っていきます。各国のGKのうまさにはほんとに頭がさがり私自身、もう一度やり直すいいチャンスを与えてくれました。全体を見れば、日本は守れなかったのが七位という成績で終ったのだと思う。点は思っていたより、十分に取れたが、2点リードされるとどうしても守り切れず、私も点を入れられ、とうとうゲームの後半の疲れで、負けるといったケースが多かったのは、やはり「精神的なスタミナ」という面でも、日本は外国、特に東ヨーロッパ勢に見劣りがしたと反省しています。

（GK）

筑波大 矢島富士雄

今回で私は二度目の海外遠征になるわけですが、今回ほど試合に勝つこととチームのムード、コンディションを保つことのむずかしさを思い知らされたことはありません。今までの外国選手との試合経験のための遠征と違い、勝ちぬくことが第一の目的であったためにチームをまとめる私の目から見て、私を含め選手は国際試合の経験を持つとはいえ、緊張を隠しきれませんでした。第一次リーグではコンゴに大勝しましたが、固さが随所に見られました。勝たなければならないという使命感から緊張が最高潮に達したのはフランスB戦でした。結局自分達の実力を発揮できないまま負けてしまったのは残念でした。チームがペースを取戻したのは対ソ連戦でした。実力の差は明らかなので負けてももともという気持ちがかえって実力以上の力を発揮させる原因となったようです。しかしソ連がセミファイナルでハンガリーに負けたショックのため次の試合でハンガリーに勝っているフランスAとの試合でもまた力を発揮できないで敗れてしまいました。しかしこの頃から外国選手の大きさと力に対するディフェンスができるようになりオフェンスとうまくかみ合いリズムが生まれてきました。ハンガリー戦では、ハンガリーの決勝進出の夢を破り。負けはしましたが3点差の好ゲームを展開することができました。七位、八位決定戦では西独を破ることができ、わずかですが前回の成績を上回り、次の大会の上位入賞のための、ステップになることができたと思います。学生時代最後のハンドボールをこのような形で終えることができ、非常にうれしく思います。

（主将・FP）

早大 東根 明人

海外遠征が二度目ということもあり、外人に対するコンプレックスとか、怖さというものはなかったが、実際プレーすると自分たちより速い動きをするので、慣れるまで時間が必要だった。

攻撃に関しては、速攻を主体としてそれが無理だったなら遅攻に切り替え、じっくりとボールを回すというパターンがよく得点を取れたと思う。その際、遅攻にしてもできるだけ早いボール回しというものが必要条件である。また、相手は大きいので正面からためて打ったのでは壁に向かってボールを打つようなものだから、できるだけ視野外から入ってきて、クイックで打つということが必要だ。

次に防御に関してであるが、攻撃よりも防御がいかに大切かということが今回実感させられた。大きな選手の突進を我々日本人がいかに防ぐか。これはデットワークによって少しでも相手のシュートコースに早く立つことが必要だ。日本ではある程度守れるような時たとえば半身ずれながらもなんとか腕で止めているようなケースは絶対破られる。逆にシュートコースに入れれば、殆んどその可能性がなくなり守りきることができる。

最終に、目標であった6位以内入賞が出来ずに残念であった。しかし、学生生活最後の年にこのような大会に参加することが出来、私のハンドボールへの意識がますます高められたことは幸運である。

（FP）

早大 村崎 広

私は一昨年のニューカレドニア遠征、昨年の関東学生選抜遠征と二度の海外遠征を経験してきましたが、これまでの遠征と異なり、初めての公式戦、今までとは違った興奮した気持で日本を出発しました。また、外国の習慣や風習、実生活に触れるチャンスと思い、両面から非常に胸踊る気持でした

フィンランドでの練習マッチ世界学生選手権で実際外国勢と戦ってみると、先輩諸兄が以前から指摘なさっているように、体力及び体格の大きな差を感じました。ま

た、大きな体格をしていても、素速い守備でのツメや攻撃でのフェイントやシュート、フットワークには圧倒されるものがありました外国同志の対戦は、迫力満点で、日本のハンドボールとの大きな違いを感じました。

しかし、我々の速攻やディフェンスの間からシュートを狙う攻撃などは十分に通用し、日本が勝つためには、ディフェンスの強化と一ゲームをフルに走り廻れる体力を身につけることが必要だと思う技術面では、決して劣ってはいないと思います。

最後に、この大会に四年生として参加し、主力にして戦えたことは、学生時代最後の良き想い出になることと思います。（FP）

早大　植村　彰

私事にはなりますが、私の様な技術的、精神的未熟な者が、この様な大きな大会に参加出来たことは大変光栄であると感謝しております。また、各大学の中心となる選手たちと外人相手に一緒にプレー出来たことはこれからの私が送るハンドボール生活の大きな自信となるでしょう。この大会、結果的には7位という成績で終ってしまいましたが、欲を出せばもう少し上位入賞出来たのではないかという後悔もなくもありません。

各国のチームと対戦する時、いつも驚かされるのは相手の体が大きいということとスピード・パワーあふれるプレーをいとも簡単にすることです。攻撃技術だけを比較すれば、日本の攻撃技術はどこのチームにも負けることはないし速攻の速さなどは今大会一番ではないかと自信をもって言える。遅攻の場合でも、どんな長身のディフェンスが居てもボールを素早く回すことによって得点することは出来た。問題は防御である。外人プレーヤーは体の大きさに関係なくスピードとパワーで、日本のディフェンスを強引に割込んでくるし、それに対して日本側は、体重差やその他色々な面で外人選手に負けてしまう。

しかし、ソ連戦の時の様にディフェンス全員が前への素早いツメをやれば、そう簡単に外人選手も得点出来ない。ただそのディフェンス力がどれだけ長続きするかによって勝負が決ってしまう。この大会に参加して感じたことは、外人選手に対するディフェンス方法を日本人が今以上に強化すれば今回以上の成績が上げられることはまちがいないと思う。（FP）

日体大　溝部　潔

今会の大会についていま思っている事は、まずディフェンスの弱さの事です。自身自身は、関東遠征で2回ほどヨーロッパの西ドイツ、フランスなどへ行ってわかっているつもりだったが、やはり、体格のちがいから、どうしても押しきられてしまいました。まったく守れないわけではないのですが疲れてくるとどうしてもつめがあまくなり、得点されるというケースが多くなってきます。2回もそうゆう事をやられながら、また今回もやられてしまって残念でなりません。オフェンスの面では、日本は日本なりの攻めで得点していたと思います。という事は、まず速攻で得点し、速いセットオフェンスなど足をつかっての攻撃が通

常時化したい〝頂点強化〟

団長　中沢　重夫

目標にしていた「6位以内」を今一歩のところで逃したが過去のどの大会よりも、目標に対して、手応えを得た遠征といえる。

初めのうちは、大西監督らコーチングスタッフの意図を選手たちがのみこめず、迷ったような練習ぶり、試合ぶりだった。

これは、現在の多くの大学チームが、専任監督が居ず、練習の大半を自主的に行っているためで、一から十まで、コーチングスタッフが計算をたてて、チームを運営することに、なれていないことも一つの理由だ。

それが、勝てると思ったフランスB戦を落として、選手に「緊迫感」と同時に「開きなおり」ともいえる気持ちを起こさせた。

ソ連戦の善戦は、それが好作用したからであろう。

準決勝リーグへ進んで、地元フランス戦は、相手がナショナル同然の陣容で押しつぶされたが、ハンガリー戦は、再三、逆転先行しながら勝ちを逃すという惜しい試合だった。

ハンガリーが、決勝進出を狙って、日本から大量得失点差をあげようと、強引に出てきたのを突いたものだ。

この一戦で、選手にも自信のようなものが生まれ、西ドイツを破ることにつながった。

西ドイツ関係者は「〝学生〟でメンバーを組んでいるのは、日本と我々だけだ」といっていたが、好感のもてるチームだった。

相変らず東欧諸国は、規定を最大限に使ってチームを編成、地元フランスは、2月の世界選手権Bグループの代表メンバーが、そのまま出てきた感じ。

日本は（学連は）それほどまでにして勝利を望む必要はなく、これからも〝現役学生〟で、チームを組んでいきたいが、コーチングスタッフだけは、少なくとも二〜三回は同一メンバーにしたい。技術的には、いぜん体格差からくる「守り」のもろさが課題だ。

各国とも、平均190cmの大型チームで、アメリカが急成長している

今回初めて、レフェリー（千野恒夫、斉藤実組）を帯同していったが、これは大成功といえた。

今後は、必ず帯同したいし、このほかジャーナリスト（広報関係者）、スカウト、ドクター、通訳などの同行も、前向きに検討したい。

大会そのものは、前回より、さらにいっそう〝組織的〟となり、FNSU（フランス学生スポーツ連合）の運営力もみごとなものがあった。

「ユニバーシアード」への参加については、具体的な動きは感じられなかった。

全日本学連としては、今後は「世界学生の年」だけ、頂点強化するのではなく、二年後の大会を目標にした強化をつねに行っていくよう、組織化したい。（談・全日本学連理事長）

用する様です。シュートは高いディフェンスに対し、やはりクイックシュート、ブラインド、アンダーシュートなどタイミングをはずしてのシュートがよくきまっていたようです。予選リーグでソビエトと戦い善戦したのも、この様なシュートがきまっていたからのように思います。

オフェンスの面では、日本は日本なりの攻めで得点したと思います。という事は、まず速攻、速いセットオフェンスなど足をつかっての攻撃が通用していた様です。シュートを高いディフェンスに対していかにをきめるかという事でクイックシュートなどのタイミングをずらしたシュート、ディフェンスを利用してのブランドシュート、スニックシュート、下からのアンダーシュートなどがよくきまっていた様です。

予選リーグで、ソビエトと対戦して善戦したのもこのようなシュートが決まっていたからです。また、西山君が得点王となり、われわれ背の低い者でも十分にやれるという事をしめしています。

彼の大活躍はこれからの日本ハンドボール界に明るい光をともしてくれたとわれわれ一同うれしく思っています。 (FP)

国士館大 三本松俊雄

世界学生選手権大会ともなると親善試合とはまるで違う感じがする。

特に、反則すれすれのラフプレーで向ってくるのは、体の小さい日本人には大変つらく感じた。ポストにしても、相手のつきとばしに耐えるだけで体力をなくす。

体力がゲーム中になくなるのは日本人の体が小さいためで、ディフェンスの時には上から打たれないように前に出る。そして横のフェイントには速いフットワークで対応する。そして、間を割って入ってくる相手をおさえるのだ。この様な動きだけでも国内では感じることが出来ない体力の消耗である。

オフェンスでは、前に出てこない外国チームには、サイドから打つシュート、変則的なステップシュートとかが有効的であることが今回で分った。

そしてこれからは、外国人におとらない、パワーを付けていくことが課題と思う。

ともかくも、真けん勝負（タイトルマッチ）に対する外国チームの迫力は、親善試合だけで国際経験をつんだといってはいられぬことを思い知らされた。 (FP)

同志社大 栗屋 敏則

24日間という長い遠征生活も今思えば早かったという気もします今回自分にとって海外遠征は二度めでしたが、前回の時以上に充実したものであったと思います。

ヨーロッパの本格的なハンドボールを自分の目で見れたことは大変な勉強になりました。体を利した力のハンドボールと、ポストへのパスなどの小さな技術のうまさには驚かされました。そんな中にあって自分が最も感心させられたのは、ソ連チームの中の二人の小さな選手でした。190㎝級の選手が平均的なヨーロッパの中にあって一人は左の170㎝ぐらいで、もう一人は右の170㎝にも足りないぐらいの人でしたが、その二人の動きのすばらしさにはただただびっくりしました。

小さい体を動きの速さでカバーし、手首をつかってのクイックシュートの速さ、そしてつねに全体の動きを見とっての判断力のするどさなど、見ているだけでその動きに魅了されました。

最後に大会の成績は、7位に終わってしまいましたが、西山君が得点王になったことは、彼個人だけでなく、日本ハンドボール界全体の名誉であり誇りであると思います。 (FP)

筑波大 西山 清

僕は、このような世界大会に出場するのは、第二回のジュニア大会と全大会に次いで二回目になりますが、前大会でも多くのことを学び、またいろいろとおどろかされましたが、今大会でも共目を見張るプレーが幾度となく展開され我々を魅了させてくれた大会でした。ソ連、ルーマニアの大きい、体からも打ちおろす豪快なシュート、フランスのスピードある攻撃また、体全体で味方ゴールを守る各国のGKのキーピング。これらすべてが我々の日本では、なかなか見ることが出来ないプレーでした。

こんな中に入って日本チームもよくやったと思っています。勝敗こそは、2勝4敗と良い成績とはいえませんが、ソ連と9点差。そのソ連を敗ったハンガリーと3点差と善戦しています。このようなもう一歩の力がなかった為、敗れた試合で我々はどのようなプレーが通じ、どのようなプレーが通じなかったかを各自が学びとることが出来たと思います。また、日本チームの課題としては、攻よりも防を鍛える必要があると思います自分の課題としては、DFの強化と、シュートとの確率を上げるためもっと多彩なシュートをマスターしてまたシュート力の向上が今

ミシンから…
エレクトロニクスまで

東京重機工業株式会社

工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)

後要求されると思います。

さらに日本でのレフリージャッジの違いも攻善させて行く必要があると強く感じました。（FP）

中大　猪野　栄一

今回この遠征を振り返ってみると、攻守に渡り、日本と世界の技術の差は、ユニバーシアードに関しては、あまり感じられませんでした。が、体格、体重の差により負けた試合が多かったので、いささか遺憾です。しかし、日本も早い動きで相手を惑わし、大きなディフェンスの間を狙らって、アンダーハンドからのステップシュートやクィックからのジャンプシュートなどを打ちわけていけば攻撃の幅は、かなり広がるように思いました。又、ディフェンスでは、早めに前へ出て当るようにして、一人が抜かれても、後の者がいつでもフォロー出来るような体勢を取っていれば、この先、日本もかなり上へ行けるような気がしました。なにしろ僕達は今書いたようなことが出来なかったばかりに、ソビエト、ハンガリー、などに負けたのです。ですからこの先、ユニバーシアードに於て、日本がメダルを手にするのも無理ではないと思います。僕は今年で終りですが、この先チャンスのある人達はただ出場するだけではなく、メダルを取ってくるような気持で、二年後に行ってもらいたいと思います。決して日本は弱くないと思います。（FP）

中大　尾上　良生

今回の遠征を終えて、自分は世界各国のハンドボールとはどういうものかを勉強し、又、これがハンドボールだというような試合を見せつけられ、自分はより深くハンドボールが勉強出来たことが、一番の思い出であった。

そして、一昨年のジュニアの選手、去年のパリ選抜らの選手達が覚えていてくれたこともうれしかった。又、学生選手権なのに、まったく学生に見えない者が何人もいておどろいた。

オフェンスは外国人の体の大きさ力の差がはっきり見え、正面からぶつかっていけば大きな壁にぶつかる為、クイックで打つタイミングをはずしたシュートが得点力となり、日本の速攻も十分通用した。

防御は、フットワークが一番大切だったということであり、さがって守っていたら絶対上から打たれ、一対一は絶対にホロウしないと体でいかれるケースが多かった

審判面では、日本の感覚でやっていてはだめで、いろんな審判がいて、すぐ警告を取る人や、フェイントかけて4・5歩、歩いてもオーバーを取らない人などいろいろであったし、ボールポイントの点でもいろいろあった。

最後に、試合が終われば昨日の敵は今日の友で、いろいろ楽しい思い出が出来て最高の旅行であった。（FP）

中京大　上村　幸彦

この遠征で特に感じた事は、外国人との体格の差をどこでカバーしたら良いのか、という事だった。予選リーグで対戦したコンゴ、フランス〝B〟ソ連、この3チームを取り上げても、日本と比較して当然の事ながら体格が、上であった。その上、技術的にも優れているから、余計に差がついてくる。

試合中に、少しの「ずれ」で、割りこまれ、相手の体を押えているのに、そのままシュートされるという場面が、多かったと思う。日本の試合で、笛がふかれる場面でも、位置がずれてシュートモーションに入っているから、審判もそのまま流して、入れられた、という事だった。

しかし、ソ連とフランスの試合を見てて、ソ連のサイド（ディフェンス）は、そんなに日本と変らないのに、うまくサイドを守っていた様に思った。守るにも良く足が動いて、相手のコースに早く入っていて、よくサイドにボールが回らない様にしていた。又、フランスの体格の上の者を割りこまれらず、防いでいた。この事は、これから日本人が外人に対して、どの様に守ったらいいか教えてくれた様な気がする。

この大会で、技術以前に、力で押し込まれたというシュートが、少なくなかったと感じた。それから、始めての海外遠征で、驚いたことは、観衆のハンドボールに対する、プレーに対する反応だった。いいプレーには、拍手があり、あるいは、ミスなどが、連続すると反対にため息まじりの声が、聞えてくる。そんな観衆に対して、私たちプレーをしている選手は、いい試合をしなければいけないのではないかと、肌に感じた。

この遠征は、自分にとって、貴重な経験だったし、いい遠征だったと思います。（GK）

大阪体大　玉村　健次

今、大会を振り返って思ったことは、やはり、日本の選手との体の大きさや力の差がはっきり見えていたことです。

試合に出してもらって感じたことは、ディフェンスをしていると相手は体が大きいので体半分抜けると、シュートにもちこまれPTをねらわれるのですごくフットワ

ークや当りが必要なことを感じました。

攻撃では、相手は、簡単に1対1を抜かしてくれないのでアンダーシュートやブラインドのステップシュートなどが効果的だったし速攻でも十分世界には、通じていました。

最後に世界各国のハンドボールというものを見てきて感じたことは、攻撃より防御の強いチームが優勝できると思いました。また、日本もディフェンス面を鍛えれば6位入賞は、間違いないと思います。

（FP）

福岡大　柏原　卓幸

初めて国際試合に出場出来た事を大変嬉しく思っております。今回は、7位入賞でしたが、もう少し、ディフェンスの方をがんばれば、6位入賞も可能です。外人の体格は、大きいという事は、わかってましたが、自分の眼で、確かめて、又、痛感した。

あれだけの体格があったら、日本のハンドも上位進出も夢ではない。技だけでは勝てないし、やはり力をつけないといけないなと思い直した。これからは、ディフェンスで、どう大きい外人相手に対応するか、その防御を一考すれば道も開けるでしょう。

攻撃面では、相手の身長は高いので、真っ向からいっても、壁にぶつけるようなもので、この大会で通用したのは、クィックシュート、視野外から走り込んで来るシュート、変則シュート、ステップが、良く通用していた。ソ連とやった時も、はじめはどうなるかと思っていたら、結構通じていくのにはビックリした。

自分も出さしてもらったけど、ソ連のあまりの大きさに驚いた。初めての経験でもあるし、世界の檜舞台に出られて、本当によかったと思います。審判の笛の吹き方も日本人感覚とちがうし、ペナルティになるようなのでもならないし、ポイントのとり方も違っていた。やはり、世界のレベルがこんなにも高いので、日本もこれからどんどん、世界のトップレベルに近ずくよう、頑張りたいものです24日間長かったようだが、今日で最後と思うと、もうちょっといたいような気もします。今度、又、遠征や国際試合にもし出られる時は、頑張りたいです。ハンドの勉強にも十分すぎるほど、なったし今回の遠征で、自分を、もう一つ大きくしたいと思います。

ありがとうございました。

（FP）

大阪経大　中尾　順一

今回の遠征は、二度目だけれども、やっぱり外人は、パワーがあり体格もすごく大きい。まず防御の方からみて行くと、やはり体が大きいから、体半分抜けるとシュートにもっていかれたり、PTをとられたりする。そして外人はむりにシュートに行かず、二人引き付けておいてポストにパスを入れたり、ずらしていったりする。また、十一メートルぐらいからシュートを撃ってくるので、すごくフットワークがいることを痛感しました。

また、日本の攻撃を見てみると外人は高さもあり、横もあるので一人でボールをもって行ってもかんたんには抜けず、ボールをもらってすぐにクィックシュートを撃つしかない状態だった。ボールを持ってためてシュートを撃ちに行っても壁にシュートをしているようだ。それでも高さがあるのでステップシュートやアンダーシュートなどが、良く入っていた。又日本は小さいなりに、速攻も良く出て点をとっていた。ソビエト、西ドイツ戦などのチームと戦ってきてこういう攻め方をしたので、ソビエトと善戦し、西ドイツに勝ったと思っています。そして西山君が今大会の得点王になった事は一緒にやっていて、とても嬉しく思っています。

（GK）

第8回世界学生選手権 主なスコア

▽予選リーグB組

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
日本	39	22 17	10 13	23	コンゴ
ソ連	33	16 17	13 11	24	日本

▽同特別試合

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
フランスB	25	13 12	7 11	18	日本

▽準決勝リーグA組

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
フランス	37	16 21	9 10	19	日本
ハンガリー	27	10 17	9 15	24	日本

▽7・8位決定戦

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
日本	32	15 17	14 15	29	西ドイツ

▽5・6位決定戦

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
ブルガリア	29	15 14	13 12	25	ハンガリー

▽3・4位決定戦

チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
ユーゴ	29	16 13	8 13	21	ソ連

▽決勝戦

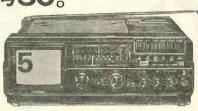
チーム	得点	内訳（上段）	内訳（下段）	得点	チーム
ルーマニア	20	9 11	6 10	16	フランス

◇

本誌前号「世界学生選手権特集11頁の見出しは「前哨戦は3勝1敗」の誤まり。

また、9頁の選手団名簿のうち矢島富士雄選手にナショナルプレイヤーを示す□印が落ちています。お詫びします。

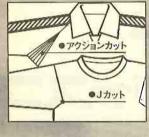
うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってのけるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。

カラーテレビ・ラジオ・カセッター
カラカセ50
CX-50 標準価格110,000円
（アンテナ・工事費別）

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は（〒100）東京都千代田区霞が関3-2-4霞山ビル 日本ビクター（株）インフォーメーション・センター〈TEL東京 03-580-2861〉へ　●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor　JVC
日本ビクター株式会社

勝ちぬく速攻メカ。

「ザ・スタジアム」ハンドボールウェア。腕の動きをケタ違いに高める「アクションカット」「Jカット」により、速攻機能をグレードアップ。まさにハンドボールのための、身につける武器だ。ボールをゴールにたたきこむ、とっておきのメカだ。世界選手権をはじめ、ヒノキ舞台で活躍するデサントのノウハウが、いま、コートで映える。——

STUDIUMはデサントの登録商標です。

THE STADIUM®

DESCENTE

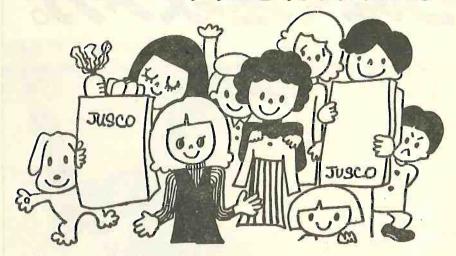
《本格派》デサント・ハンドボールウェア「ザ・スタジアム」

がんばれ!ニッポン!
協賛(JOC-G承認109)

1980 MOSCOW JOC-MS-2-80-1

デサントはアディダス社と共にモスクワ五輪に協力しています。

株式会社デサント

暮らしへの奉仕を合言葉に。

鉄は
ともだち

石から銅へ、銅から鉄へ。人類がくらしの中に鉄をとりいれてから、既に3000年以上もの年月がたっています。いま、鉄はわたしたちの生活に深く結びつき、社会を支えるたいせつな役割をになっています。鉄の力強い手ごたえ、じょうぶで、加工しやすく、資源にも恵まれている鉄。新日鉄は、社会のさまざまなニーズに対応して鉄のもつこの豊かな特長を余すことなく引きだすために、新しい技術の開発や資源・エネルギーの有効利用など幅広い分野で、多くのテーマととりくんでいます。

湯沢HC、2年連続優勝

各地の記録

第17回東北総合室内選手権は、1月23日から25日まで3日間、山形県体育館に男女各12チームによるトーナメント法式で行われた。

男子は、クラブ勢の意気が大いにあがりベスト4のうち3チームを占めた。

決勝は、全日本総合（12月・東京）にも出場した湯沢HC(秋田)と、古豪・岩手教員クの顔合せとなり、守備力に優る湯沢HCが前半のリードを後半、さらに伸ばして2年連続3度目の優勝を飾った。

女子は、日本リーグ1部復帰を目前としたムネカタ（福島）が、今回も圧倒的な強味を示し、3試合の総失点8というチーム力で9年連続10度目の優勝を遂げた。

2位には、準決勝であすなろク(青森)を破った大曲農高（秋田）が入った。

▽男子1回戦

福島教員 28―15 東根球友会(山形)

花巻ク 14―13 仙台大OB(宮城)

湯沢高(秋田) 18―17 七戸ユニオン(青森)

岩手教員ク 19―12 真室川高(山形)

▽同準々決勝

湯沢HC(秋田) 20（15―8、15―9）17 福島教員

青森ク(青森) 12（4―4、8―5）9 花巻ク

東北学院大OB会(宮城) 19（10―10、9―8）18 湯沢高

岩手教員ク 19（10―6、9―6）12 学法石川ク(福島)

▽同準決勝

湯沢HC 22（14―6、8―11）17 青森ク

岩手教員ク 20（10―6、10―8）14 東北学院大OB会

▽同決勝

湯沢HC 20（8―3、12―8）11 岩手教員ク

▽女子1回戦

桜会(宮城) 9（延）8 岩手桐花ク(岩手)

秋田和洋女高(秋田) 17―3 米沢女高(山形)

あすなろク(青森) 10―6 米沢女高OG会(山形)

長沼高(福島) 12―5 宮城三女高(宮城)

▽同準々決勝

ムネカタ(福島) 13（7―1、6―3）4 桜会

秋田和洋女高 6（3―2、3―3）5 青森中央高(青森)

あすなろク 13（8―1、5―3）4 花巻南高(岩手)

大曲農高(秋田) 11（3―2、8―3）5 長沼高

▽同準決勝

ムネカタ 16（6―1、10―1）2 秋田和洋女高

大曲農高 15（6―4、9―4）8 あすなろク

▽同決勝

ムネカタ 16（11―2、5―0）2 大曲農高

ジャスコの6連勝成る

第20回東海室内選手権（NHK名古屋杯）は、2月15日四日市市体育館に、東海4県の予選勝者、男女各4チームを集めてトーナメント法式で行われた。

男子は、前回同点優勝となった本田技研鈴鹿(三重)と大同特殊鋼(愛知)が、今年も決勝で顔を合せたが、主力3人をヨーロッパ遠征に送りこんでいる大同に精彩がなく、本田は後半、一気に勝負をつけ、2年連続3度目の優勝を飾った。〝単独〟優勝は第13回大会以来7年ぶり2度目。大同の7連勝は成らなかった。

女子は予想どおり全日本総合優勝のジャスコ(三重)と、日本リーグ2位のブラザー工業(愛知)の決勝となり、たえず先行していたジャスコが、後半なかばに握った主導権を手固く守って、ブラザーの反撃を振り切り、地元ファンの声援に応えた。これで6連勝。

▽男子1回戦

大同特殊鋼(愛知) 34（15―4、19―8）9 気賀高OB(静岡)

本田技研鈴鹿(三重) 46（22―3、24―7）10 岐阜ク(岐阜)

▽同決勝

本田技研鈴鹿 20（9―6、11―7）13 大同特殊鋼

▽女子1回戦

ジャスコ(三重) 36（16―2、20―1）3 岐阜ク(岐阜)

ブラザー工業(愛知) 27（15―0、12―2）2 ポスト・ク(静岡)

▽同決勝

ジャスコ 15（10―6、5―8）14 ブラザー工業

湧永、日新を突き放す

▼第11回広島県男子総合選手権（2月・進徳高体育館ほか）

▽男子準々決勝

湧永薬品 27―13 呉ベアーズ

広島県教員団 19―17 海上自衛隊

自・幹候校 21―17 修道ク

日新製鋼 27―13 広島大

▽同準決勝

湧永薬品 25―6 広島県教員団

日新製鋼 21―16 自・幹候校

▽同決勝

湧永薬品 27（12―7、15―5）12 日新製鋼

▽2部準々決勝

日本製鋼所 18―6 湧永ク

呉同好会 20（延）18 広大B

修道大 17―15 古鷹ク

呉高専は不戦勝で準決勝進出

▽同準決勝

呉高専 15―14 日本製鋼所

呉同好会 21―17 修道大

▽同決勝

呉同好会 24―10 呉高専

冴えるパスワーク
君の勝利球

MIKASA
ミカサハンドボール

MGH2 ¥4,500(検定球)
MGH3 ¥4,600(検定球)

デザインが感触が新しい!

明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・名古屋・福岡

信州大、準々で姿消す

▼第20回長野県総合選手権（2月
小諸市総合体育館

▽男子準々決勝
長野教員 21―14 かつらおB
上田ク 33―16 北佐久農高
北農ク 22―13 信州大
かつらお 25―12 小諸ク
▽同準決勝
上田ク 28―17 長野教員
かつらお 14―10 北農ク
▽同決勝
上田ク 29（13―9、16―2）11 かつらお
▽女子1回戦（3試合）
小諸商高 8―2 愛球会
北佐久農高 11―10 臼田ク
小諸商ク 13―5 臼田高
▽同準決勝
佐久高 18―9 小諸商高
小諸商ク 18―8 北佐久農高
▽同決勝
佐久高 12（8―2、4―2）4 小諸商ク

男子は岐阜ク制勝

▼第22回岐阜県室内選抜選手権（1月・岐阜北高体育館）

▽一般男子1回戦（3試合）
岐阜ク 19―11 多治見ク
岐阜イーグルス 棄権 大垣工会
岐阜大 棄権 山都ク
▽同準決勝
岐阜ク 13―11 岐阜教員
岐阜イーグルス 19―11 岐阜大
▽同決勝
岐阜ク 12（6―5、6―5）10 岐阜イーグルス
▽同女子1回戦（1試合）
三洋電機 9―4 翔球会
▽同準決勝
腕満会 19―7 三洋電機
笠松ク 11―7 県岐商OG
▽同決勝
腕満会 14（5―4、4―5…2―1、3―1）11 笠松ク
▽高校男子決勝
県岐阜商 7―2 岐阜北
▽同女子決勝
富田女 4―3 県岐阜商

比治山、山陽女を破る

▼第11回広島県女子選手権（2月・進徳高校体育館）

▽一般1回戦（1試合）
広島HFG 12―8 山陽女OGB
▽同決勝
山陽女子OG 24（10―4、14―7）11 広島HFG
▽高校1回戦（1試合）
清水ケ丘 22―7 呉宮原
▽同準決勝
山陽女 8―5 進徳
比治山 17―4 清水ケ丘
▽同決勝
比治山 3（1―0、2―2）2 山陽女

日本光電、高崎S・L降す

▼第21回群馬県総合選手権（1月・前橋商高）

▽男子準々決勝
群馬教員 25―23 富岡高OB
前橋商OB 19―18 前橋商高
富岡高 25―18 前橋ク
吉井高OB 24―5 藤岡ク
▽同準決勝
群馬教員 31―23 前橋商OB
吉井高OB 17―15 富岡高
▽同決勝
吉井高OB 25（10―9、15―8）17 群馬教員
▽女子準々決勝
日本光電工 19―8 下仁田高OG
群女短大付高 14―9 吉井高
高崎スカイライン 24―1 下仁田高
吉井高OG 13―10 前橋ピジョンズ
▽同準決勝
日本光電工 16―6 群女短大付高
高崎スカイライン 18―11 吉井OG
▽同決勝
日本光電工業富岡 13（9―6、4―6）12 高崎スカイライン

小林工と小林商勝つ

▼第16回宮崎県高校新人大会（1月・宮崎県体育館）

▽男子決勝リーグ
延岡東 28―10 泉ケ丘
小林工 24―5 宮崎西
小林工 19―12 泉ケ丘
延岡東 17―10 宮崎西
小林工 22―11 延岡東
泉ケ丘 17―14 宮崎西
【順位】①小林工3戦全勝②延岡東2勝1敗③泉ケ丘1勝2敗④宮崎西3敗
▽女子決勝リーグ
延岡 8―7 西都商
小林商 15―4 宮崎一
小林商 9―5 延岡
西都商 14―12 宮崎一
小林商 21―6 西都商
延岡 11―8 宮崎一
【順位】①小林商3戦全勝②延岡2勝1敗③西都商1勝2敗④宮崎一3敗

石川ク、福島教員に快勝

▼第23回福島県総合選手権（1月・福島市体育館）

▽男子準々決勝
福島教員 27―19 福島SGク
学法石川高 23―19 福島大
安積高 16―15 オール郡山
学法石川ク 18―11 如月ク
▽同準決勝
福島教員 23―20 学法石川高
学法石川ク 26―14 安積高
▽同決勝
学法石川ク 24（14―10、10―9）19 福島教員
▽女子1回戦（3試合）
郡山女高 13―8 緑が丘高
たちばなク 7―5 福島工高
長沼高 18―7 郡山女OG
▽同準決勝
ムネカタ 13―4 郡山女高
長沼高 12―5 たちばなク
▽同決勝
ムネカタ 14（8―7、6―1）8 長沼高

▼第18回福島県秋季高校選手権（55年11月・郡山総合体育館）

▽男子準々決勝
長沼 15―14 聖光学院
学法石川 18―10 安積
内郷 28―14 福島
安積商 18―14 好間
▽同準決勝
学法石川 31―17 長沼
内郷 14―13 安積商
▽同決勝
学法石川 31（18―8、13―4）12 内郷
▽女子準々決勝
郡山女 8―7 長沼
福島北 15―4 梁川
緑が丘 11―7 石川
日本女工 14―8 小野
▽同準決勝
郡山女 16―6 福島北
日本女工 7―5 緑が丘
▽同決勝
郡山女 10（5―2、5―3）5 日本女工

▼第7回茨城県一般室内選手権（2月・笠松体育館）＝男子のみ

▽準々決勝
茨城大 20―9 筑波ラバーズ
鉾田ク 23―9 千代田ク
茨苑ク 23―8 日本原子力研
麻生ク 21―14 自衛隊勝田
▽準決勝
茨城大 19―10 鉾田ク
麻生ク 26―9 茨苑ク
▽同決勝
茨城大 14（9―4、5―9）13 麻生ク

マイクロコンピューター搭載。どこまで進化するのかラジオカセット。

メタル&フェザータッチ

TRK-8800 ¥84,800

●高級デッキなみの操作感覚フェザータッチ ●2モーターシステムが可能にした高精度回転ワウ・フラッター0.06%(W.R.M.S) ●メタルテープの性能をフルに引き出すメタル対応ヘッド搭載 ●曲の頭出し思いのまま、繰り返し聞けるリピートデジタル選曲機構 ●テープを初めから終わりまで繰り返し自動演奏するオートリワインドプレイ機構

●2ウェイ・4スピーカーシステム(16cmウーハー×2+5cmツイーター×2) ●実用最大出力10W(5W+5W) EIAJ/DC ●大きさ 幅55.6×高さ31.8×奥行17.3(cm) ●重さ 8kg(乾電池含む)

★選曲のために、曲と曲との間に3秒間以上の無信号部分が必要です。

HINT

くらしを豊かに…
「日立新技術シリーズ」

日立の新技術・新アイデアから生まれた代表商品です。このエレクトロニクスの基本技術は、日立カセットレコーダーに共通して生かされています。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI RADIO CASSETTE RECORDER

HITACHI

上手に使って上手に節電

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

お求めは、お手軽なお支払い 日立のクレジット

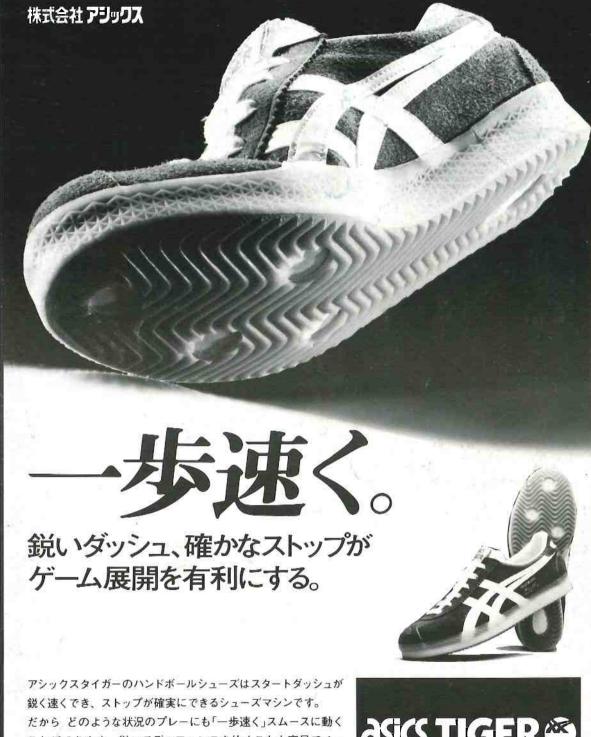
●日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり大切に保存してください。

★ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合、クレジットがご利用いただけます。
★商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一九四号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
[illegible]五六年二月二十五日 印刷
[illegible]五六年三月一日 発行

株式会社 アシックス

一歩速く。

鋭いダッシュ、確かなストップがゲーム展開を有利にする。

アシックスタイガーのハンドボールシューズはスタートダッシュが鋭く速くでき、ストップが確実にできるシューズマシンです。
だから どのような状況のプレーにも「一歩速く」スムースに動くことができます。従ってディフェンスを抜くことも容易でノーマークの状況をつくり出すことができます。また「攻」から「守」への転換もスムースで速くできます。
勝つために この一足を ぜひ。

Handball Shoes

ハンドボールBK(THH703) ■甲被は牛皮カラーベロア。 ■底はノンスリップ意匠底。 ■タコの吸盤の原理を応用した特殊ソール。
■レッド×ホワイト、ブルー×ホワイト ■サイズ 22.5〜28.0cm

東京都[illegible]区神南一-一-一
電話(467)七〇九七
振替[illegible]六-五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美

定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)